

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会青少年支援室	はたちの集い開催事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「はたちの集い」を通じて若者が松江の魅力を認識し、興味・関心を抱くことで地域への愛着を深めることにより定住促進や関係人口増につながるような機会とする。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		出席率（％）	77.14	85	85	85
	目標（何を達成するのか）					
	「はたちの集い」開催について広く周知し、参加の促進を図る。					

事業概要	○開催日：1月（成人の日を含む3連休の中日に開催） ○対象年齢：当該年度に20歳を迎える方 ○対象者数：約2,000人 ○企画立案・運営：当該年度対象者を中心に、一般公募により選出した委員で組織する実行委員会が行う。 ○内容：大人としての社会的責任・自覚を促すとともに、地域への愛着心の醸成を図り、定住促進や関係人口増につながるような場となるよう実施する。
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	「はたちの集い」の開催（R7.1.12開催 会場：くにびきメッセ） 出席者数1,488人 出席率77.14% ・はたちの集い実行委員会の開催 ・市内の自然や歴史文化を感じるスポットを巡るツアー等を掲載したパンフレット作成 ・松江に関するクイズ大会や署名人のメッセージビデオ上映、地元で活躍するアーティストによるアートボードの設置、恩師メッセージの掲示等	「はたちの集い」の開催（R8.1.11） ・はたちの集い実行委員の募集 ・はたちの集い実行委員会開催（式典等の企画・運営方法について意見交換を行い決定） ・市内各企業等の団体に対し協力・連携依頼	「はたちの集い」の開催 ・はたちの集い実行委員の募集 ・はたちの集い実行委員会開催（式典等の企画・運営方法について意見交換を行い決定） ・市内各企業等の団体に対し協力・連携依頼
	達成度		
	2	計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	3,489	3,477
	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	3,489	3,477
歳入合計		3,489	3,477

課題	「はたちの集い」が定住促進や関係人口増を図る機会となるよう企画し、実施する必要がある。	方向性	「はたちの集い」が定住促進や関係人口増を図る機会となるよう市内各企業や松江青年会議所等の団体からの意見を参考に、実行委員会で企画、運営方法を検討して進める。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	はたちの集い開催事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～6月	実行委員募集		
	7～12月	実行委員会の開催		
	1月	はたちの集い開催		
	2～3月	振り返り（事業報告）		

本事業に関する主要データ

【令和7年松江市はたちの集い】



式典開催状況

実行委員会活動状況

開催年	令和5年	令和6年	令和7年
開催日	1月8日（日）	1月7日（日）	1月12日（日）
会場	くにびきメッセ		
開催方式	2部開催（午前・午後）	一括開催	一括開催
出席者数	1,450人	1,441人	1,488人
出席率	70.18%	75.01%	77.14%

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	63		
役務費	344		
委託料	3,070		
事業費計		3,477	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	U I ターン促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	U I ターン希望者に対する支援や松江市の縁者への情報発信を行うことにより、松江市へのU I ターン促進を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		市への相談対応件数（件）	223	100	100	100
	目標（何を達成するのか）	市のサポートにより定住した人数（人）	76	15	15	15
	U I ターン者の増加					

事業概要	松江市へのU I ターン希望者に対する相談対応、県外でのU I ターンフェアにおける出張相談の実施により、U I ターン者の増加を図る。また、U I ターン相談登録者や松江市の縁者に対して定住に関する情報発信を行い、将来的な松江市へのU I ターンを促す。
------	--

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	ふるさと島根定住財団主催の移住フェア、しまね暮らしマルシェ、オンラインイベントに積極的に参加し、松江市への移住をPR。また、移住相談（対面やオンライン）対応、移住イベント等で相談対応した方のアフターフォローを実施。		引き続きふるさと島根定住財団主催の移住フェア、しまね暮らしマルシェ、オンラインイベントに積極的に参加し、松江市への移住のPRを行う。また、移住相談（対面やオンライン）対応、移住イベント等で相談対応した方のアフターフォローを行う。		引き続きふるさと島根定住財団と協力しながら移住施策に取り組んでいく。	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費	10,409	14,410
	国・県支出金	535	50
	地方債		
	その他		
	一般財源	9,874	14,360
歳入合計		10,409	14,410

課題	他市町村に比べ、移住に関する支援メニューが少ない中で、「松江市」を選んでもらえるプロモーションをどのように行っていくかが課題。就業支援コーディネーターによる、企業と就職希望者とのマッチングも積極的に行っていく。	方向性	今後も 県及びふるさと島根定住財団等と連携を深め、本事業や就業支援事業を継続的に実施する。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	UIターン促進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	移住相談会（東京）		
	9月	移住イベント（大阪）		
	11月	移住イベント（東京）		
	不明	移住体感オンラインツアー		

本事業に関する主要データ	
しまね移住フェアin大阪(2024.7.15)	
	
しまね移住フェアin東京（2024.10.19）	
	

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	7,527	使用料及び賃借料	33
職員手当等	3,306		
共済費	1,914		
旅費	1,252		
需用費	94		
役務費	204		
委託料	80		
事業費計		14,410	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	高校魅力化コンソーシアム運営マネージャー配置事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	高校時代から地域や地元とのつながりを作ることにより、将来的なUIターン志向の増加を促し、松江市への定住を視野に入れるとともに、居住地に関係なく地域の活性化に貢献したいと思う高校生を増やす。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		地元企業の仕事等を知っている生徒(%)	41.8	80	80	80
	目標（何を達成するのか）					
	自分にとって魅力ある地元企業の仕事内容や職場環境を知っている生徒の増加。 将来、居住地に関係なく松江市の活性化に貢献したいと考える生徒の増加。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 地元企業の仕事内容や職場環境を知っている生徒の割合【対象生徒へのアンケート】：2029（R11）年度 松江市内2つの県立高校をモデル校とし、高校魅力化コンソーシアム運営マネージャーを配置することで、地元の産業や企業への理解を深めたり、卒業生ネットワークの構築を図る取り組みを推進する。
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	引き続き松江南高校、松江商業にそれぞれコンソーシアムマネージャーを1名ずつ配置。 令和5年度同様、地元公民館、市内企業と連携しながらイベントなどを行う、地域おこし協力隊と探究の学習をするなど、学生と地域プレイヤーの連携強化を図る取り組みを実施した。	引き続き学生と地元・地域のつながりを強化する取り組みを実施する。また、令和7年度は、学校との定期的なミーティングの回数を増やすなどして方向性を適宜確認するとともに連携強化を図る。	引き続き学生と地元・地域の連携を強化する取り組みを実施する。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

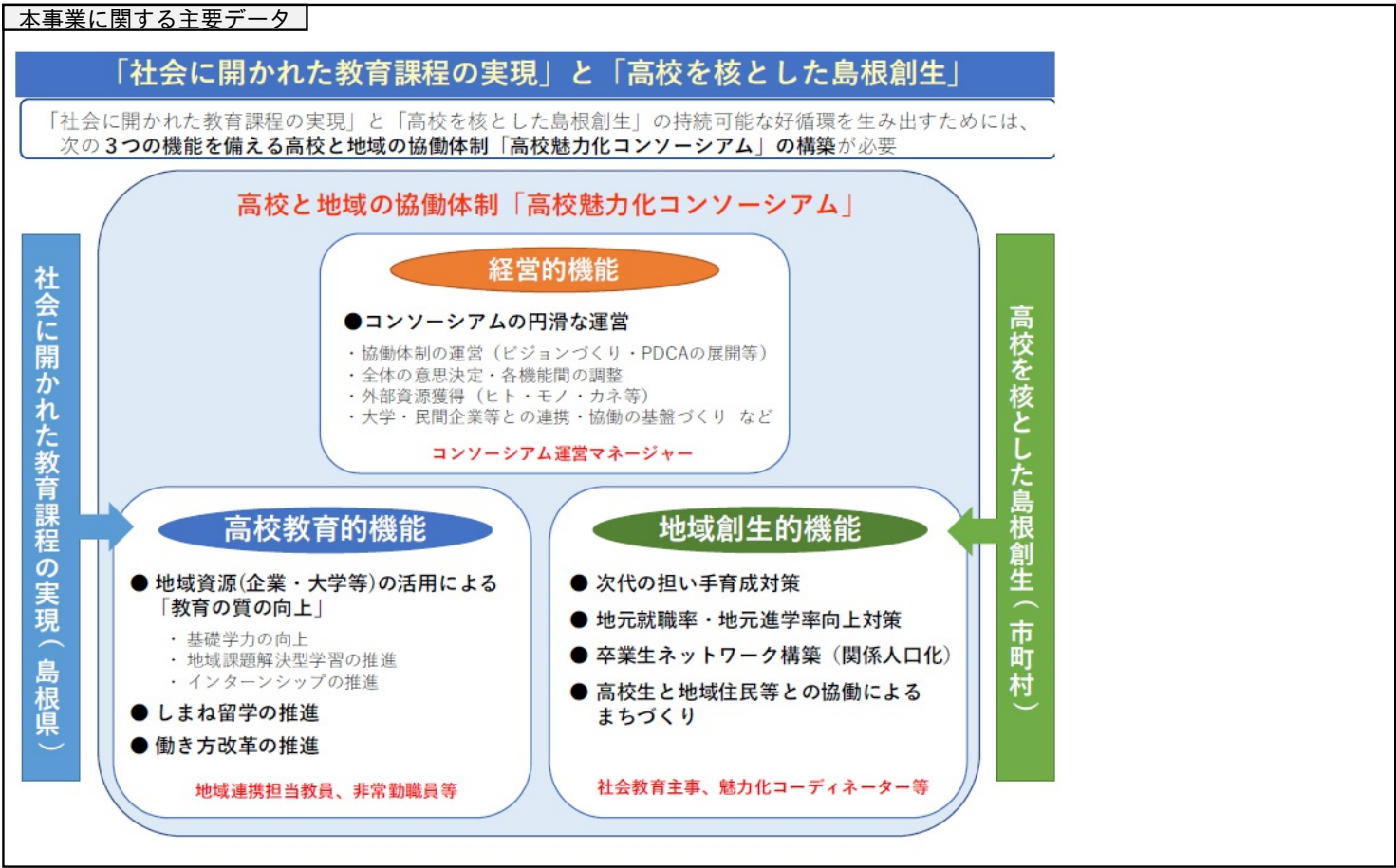
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費	7,900	9,304
	国・県支出金	5,689	4,652
	地方債		
	その他		
	一般財源	2,211	4,652
歳入合計		7,900	9,304

課題	将来的なUターン志向の増につながる、地元で働く若年社会人や地域で活躍する人との接点づくりを強化していかなければならない。	方向性	それぞれのコンソーシアムの特色を出しつつ、探究の学習や地域活動を通じて、学生と地域のつながりをつくっていく。
----	--	-----	--

産業経済部定住企業立地推進課 高校魅力化コンソーシアム運営マネージャー配置事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	高校魅力化コンソーシアム運営マネージャー配置事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	R7.4	コンソーシアムマネージャー配置		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	5,684		
職員手当等	1,876		
共済費	1,325		
旅費	251		
役務費	49		
使用料及び賃借料	119		
事業費計		9,304	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	職業体験イベント開催支援事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	小学生から大学生まで、学生世代を網羅した地元就職意識の醸成および地元企業の魅力の向上を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		数値目標になじまない				
	目標（何を達成するのか）					
	地元経済界と連携して中学生向け職業体験イベントを開催し、中学生の職業理解と地元企業の認知度向上を推進する。					

事業概要	従前から行う小学生向けの職業体験イベント、高校生・大学生向けの企業セミナーに加えて、中学生を対象とした職業体験イベントを開催する。 ・開催時期：11月12日（水） ・会場：くにびきメッセ 大展示場 ・対象：市内中学生（約1,800人）
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	中学生を対象とした職業体験イベントを開催 ・開催時期：1月21日（火） ・会場：くにびきメッセ大展示場 ・対象：市内中学生2年生 ・参加者：約1,800人	中学生を対象とした職業体験イベントを開催 ・開催時期：11月12日（水） ・会場：くにびきメッセ大展示場 ・対象：市内中学生2年生 ・参加者：約1,800人	中学生を対象とした職業体験イベントを開催 ・開催時期：令和7年度事業を踏まえ調整 ・会場：くにびきメッセ大展示場 ・対象：市内中学生2年生 ・参加者：約1,800人
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費		10,000
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		10,000
	一般財源	0	0
歳入合計		0	10,000

課題	将来的な地元企業への就職につなげるためには、職業体験の機会の提供や、地元企業の情報を届ける必要がある。	方向性	「職業体験」を通じて、様々な職業、職種、仕事の魅力を紹介し、地元企業を知ることや就職への動機づけを行う。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	11月12日	職業体験イベント開催		

本事業に関する主要データ

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	10,000		
事業費計		10,000	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
政策部政策企画課	MATSUE DREAMS 2030推進費・ミライソウゾウ会議開催事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」に掲げた将来像「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」の創造にむけて、5つの基本目標、18の基本施策を掲げ取り組む。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		出生数（人） ※R3からの累計値	5,544	9,000	9,000	9,000
		社会増減（人） ※R3からの累計値	-1,359	1,300	1,300	1,300
	目標（何を達成するのか） ・各施策の徹底した評価と見直しを進めるため、総合的な調整を行う。 ・若者の主体的なまちづくりへの参画を促し、本市への愛着を深める。	松江に愛着を持つ高校生・学生の割合（％）	73.2	74.0	74.0	75.0

事業概要	【MATSUE DREAMS 2030推進費】 ・外部委員で構成する「松江市総合計画審議会」を開催し施策の検証を行うとともに、各施策の検証・見直しのための基礎資料として、市民アンケートを実施する。
	【ミライソウゾウ会議開催事業費】 ・総合計画の策定時から実施している「ミライソウゾウ会議」を、若者主体のコミュニティ形成とアイデアの実践に向けた学びの場として引き続き開設する。
	（目標値の目標年度） 出生数（人）・社会増減（転入－転出）（人）：2025（R7）年度（2021（R3）～2025（R7）年度の5年間での目標として設定） ※2021（R3）年度に見直しを行い、以降は5年おきに目標となる数値を設定 松江に愛着を持つ高校生・学生の割合（％）：2029（R11）年度

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・松江市総合計画実施計画（R5～7年度）の策定 ・総合計画審議会の開催 ・まちづくりのための市民アンケート（市民・学生・高校生・中学生）の実施 ・ミライソウゾウ会議の開催	・松江市総合計画実施計画（R6～8年度）の策定 ・総合計画審議会の開催 ・まちづくりのための市民アンケート（市民・学生・高校生・中学生）の実施 ・ミライソウゾウ会議の開催	・松江市総合計画実施計画（R7～9年度）の策定 ・総合計画審議会の開催 ・まちづくりのための市民アンケート（市民・学生・高校生・中学生）の実施 ・ミライソウゾウ会議の開催
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		9,604
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		2,735
	一般財源	0	6,869
歳入合計		0	9,604

課題	・総合計画に掲げる将来像を市民・民間事業者と共有し、その実現に向けそれぞれの立場で行動するために、策定した計画をあらゆる世代に広く周知し、浸透させていく必要がある。 ・ミライソウゾウ会議への参加をきっかけとして若者を地域活動へ繋げるとともに、その取組みを自走可能なモデルへと発展させる必要がある。	方向性	・計画に定めた数値目標及び重要業績評価指標（KPI）により各担当部局で施策の評価検証を行うとともに、外部委員で構成する「松江市総合計画審議会」の意見を踏まえ、効率的・効果的な施策の展開に繋げていく。 ・総合計画策定時から開催しているワークショップ「ミライソウゾウ会議」を継続実施し、「夢を実現できるまち」の創造に向けた若者のまちづくりへの参画を促すとともに、若者主導のプロジェクトを生む場として、自走可能な仕組みづくりに取り組む。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	MATSUE DREAMS 2030推進費

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	総合計画実施計画見直し（R6～R8年度）	10月	総合計画審議会
	6～7月	市民アンケート		
	8～3月	ミライソウゾウ会議		
	9月	総合計画庁内推進委員会		

本事業に関する主要データ

●社会増減の推移(H23-R6) ※各年10月～9月 出展：島根県人口移動調査

年度	増減(人)
H23	-6
H24	-276
H25	-76
H26	-168
H27	-443
H28	40
H29	214
H30	29
R1	-107
R2	-333
R3	-343
R4	-264
R5	-505
R6	-247

●出生数の推移(H23-R5) ※各年10月～9月 出展：島根県人口移動調査

年度	出生数(人)
H23	1,803
H24	1,810
H25	1,790
H26	1,810
H27	1,838
H28	1,810
H29	1,750
H30	1,650
R1	1,680
R2	1,482
R3	1,441
R4	1,350
R5	1,271
R6	1,271

●松江に愛着を持つ高校生・高校生の割合 出展：R6まちづくりのための市民アンケート（高校生・学生）

対象	とても愛着を感じている	愛着を感じている	どちらかと言えば愛着を感じていない	愛着を感じていない	分からない
高校生 (n=838)	20.4%	56.0%	7.8%	4.2%	11.7%
学生 (n=304)	14.5%	50.0%	10.2%	7.2%	18.1%

●R6年度ミライソウゾウ会議

※数値目標：松江に愛着を持つ高校生・学生の割合
＝（学生、高校生のとても愛着を感じている人数＋愛着を感じている人数）／（学生、高校生の回答者数）

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	169		
需用費	747		
役務費	15		
委託料	8,673		
事業費計		9,604	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	テレワーク・デイズM A T S U E 事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域とのコミュニケーションを通じて関係人口を増やす「松江式ワーケーション」を、都市部の企業に訴求し、将来の移住・定住につなげる。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		松江式ワーケーションに参加した人数（人）	34	30	30	30
	目標（何を達成するのか）	利用企業者数（件）	101	106	111	124
	1）松江式ワーケーションに参加した人数30人（R11年度単年） 2）利用企業者数124社（R1～R11年度累計） ※R1～R4年度：54社、R5～R11：70社					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 松江式ワーケーションに参加した人数【4月～3月】：2029（R11）年度（単年） 項目名 利用企業者数：2029（R11）年度（累計） ・快適なテレワーク環境や地域交流、ヘルスケアを取り入れた「松江式ワーケーション」の利用拡大を図るとともに、松江固有の魅力を体験していただく。
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	「松江式ワーケーション」として、ストレスサイエンスや地域交流会を中心としたプログラムを提案し、23社34人を受入れ。 令和5年度のワーケーション実施企業が市内に松江拠点を開設され、今年度もワーケーションを実施し、地域課題解決に向けて継続的に取り組んでいただいた。	引き続き、利用者の声やアンケート結果を反映するとともに、民間の創意工夫を活かしてプログラムのブラッシュアップを行い、「松江式ワーケーション」の固有の魅力をPRすることで都市圏の企業および個人に訴求し、利用拡大を図る。	引き続き、利用者の声やアンケート結果を反映するとともに、民間の創意工夫を活かしてプログラムのブラッシュアップを行い、「松江式ワーケーション」の固有の魅力をPRすることで都市圏の企業および個人に訴求し、利用拡大を図る。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		4,317	3,522
財源内訳	国・県支出金	0	1,647
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	4,317	1,875
歳入合計		4,317	3,522

課題	・本市プログラムの特徴である、ストレスサイエンスやコミュニケーション（地域交流）については、都市部企業に高評価を得ているが、さらに、民間の創意工夫を活用したパッケージ商品として質の向上を図り、都市圏の企業および個人へ固有の魅力をPRする。	方向性	ワーケーション利用者と地元企業あるいは地域課題を抱える地域代表者との継続的な関係性を構築することで、関係人口の増加とともに将来の移住・企業誘致に繋げていく。
----	---	-----	--

産業経済部定住企業立地推進課 テレワーク・デイズM A T S U E 事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	テレワーク・デイズMATSUE事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	ワーケーション受入		

本事業に関する主要データ
【これまでの主な取り組みの成果】 ①富士通株式会社とのワーケーションパートナーシップ協定の締結 ・富士通グループの社員8万人に対して、松江式ワーケーションの周知が図れた。 ・モニターツアー（R4.10、R5.11）を実施し、参加者からプログラムのブラッシュアップに向けたフィードバックをいただいた。 ②都市部企業と市内企業がビジネスマッチングにより、新規サービス開発について協業 ③地域交流会での地域課題共有がきっかけとなり、新規コワーキングスペースが開設 ④ワークショッププログラムの中で高校生の探究学習を支援 ⑤過去にワーケーションを利用された企業が松江拠点を開設

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	116		
委託料	3,406		
事業費計		3,522	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	地域おこし協力隊事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域資源を活用し、磨きをかけて収益事業を創り、雇用の場を拡大して、地域の活性化を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		地域おこし協力隊定着率(%)	88	80	80	80
		中核CN、協力隊員の定着（人）	22	22	32	32
	目標（何を達成するのか） ・人口維持、地域の産業維持・活性化、地域振興。 ・任期後は、松江市で起業・就業し、定住につなげる。 ・中核CN、協力隊員の定着、拡大・創出した地域ビジネス数の目標値は、R11年度末の目標値	拡大・創出した地域ビジネス数（累計、件）	21	24	24	36

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 地域おこし協力隊定着率【任期終了後定住した隊員数/受入隊員数】：2029（R11）年度 松江の優れた地域資源を、それにかかわる地域の団体・企業等と共創・協働の精神により、一緒になって掘り起し、磨きあげ、収益の拡大や新たなビジネス・生業・新しい文化を創出し、地域の元気につなげる。 [地域おこし協力隊の活動] ・各隊員がそれぞれの知識・経験・能力を発揮し、チームとして相乗効果を発揮する。 ・地域の生産拠点を活かし、地域の団体等と協働して収益増、起業、雇用の場を創出する。 ・地域資源を使った商品やサービスの再生・開発・加工・流通・販売により、地域経済の好循環を図る。 ・3年の任期を終えた後は、松江市で起業・就業し、定住につなげる。
------	--

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	・これまで同様、地域と協働した取り組みを進めると同時に、退任した隊員の行うビジネスとの連携等も図りながら、より発展的な事業を実施。 ・住民との協働や市の各部署との連携により、新たな取り組みを創造した。 ・次年度に向けた募集活動を行い、3名を採用。 ・7期生は、自身の起業・独立を見据えた実践的な取り組みを行い、いずれも松江に定住。3名の内2名は起業済み、1名は令和7年度起業予定。		・これまで同様、地域と協働した取り組みを進めると同時に、退任した隊員の行うビジネスとの連携等も図りながら、より発展的な事業を行っていく。 ・住民との協働や市の各部署との連携により、新たな取り組みを創造する。 ・次年度の採用に向け、募集内容の検討や採用活動を行う。		・これまで同様、地域と協働した取り組みを進めると同時に、退任した隊員の行うビジネスとの連携等も図りながら、より発展的な事業を行っていく。	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		39,390	58,297
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他	7,565	930
	一般財源	31,825	57,367
歳入合計		39,390	58,297

課題	・活動終了後を具体的に見据えた事業の推進が求められ、それに向けた伴走型の支援が必要。	方向性	・本市の地域おこし協力隊の活動内容や特徴、成果、サポート体制が見える化し、移住フェアや募集イベントへの出展のほか、外部団体と連携し広く情報発信することで、採用活動の強化を図る。 ・現役の隊員に向けては、起業・創業に向けた研修体制の充実を図り、定住につなげる。 ・任期満了を迎え卒業した隊員についても、引き続き関わりながら、必要に応じて支援を行う。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	地域おこし協力隊事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4-3月	地域資源を活用した事業創出	8-10月	市長及び庁内報告会
	4-3月	地域おこし協力隊によるマルシェ等イベント開催	7-12月	次年度採用コーディネーター採用試験（一次・二次）
	4月	辞令交付(採用)	3月	辞令交付式(任期満了)
	6-12月	人財募集活動		

本事業に関する主要データ

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	24,255	委託料	1,772
職員手当等	7,361	使用料及び賃借料	8,741
共済費	5,388	負担金補助及び交付金	4,720
報償費	440		
旅費	2,908		
需用費	1,564		
役務費	1,148		
事業費計		58,297	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	ふるさとづくり寄附事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市の魅力あるふるさとづくりに資する事業に対して寄附金を募り、これを財源として活用するとともに、ふるさと納税返礼品等を通じて松江市の魅力を全国に発信する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		ふるさと納税寄附者数【4月～3月】（人）	16,114	19,615	19,615	19,615
		寄附金額（千円）	500,000	600,000	600,000	600,000
	目標（何を達成するのか）	返礼品数（品）	1,000	1,200	1,200	1,200

事業概要	（数値目標の目標年度） ふるさと納税寄附者数【4月～3月】（人）：2029（R11）年度 寄附金額（千円）：2029（R11）年度 寄附金額（千円）：2029（R11）年度 『ふるさと納税』と呼ばれる寄附金税制を取り扱う事業で、「松江市ふるさとづくり寄附条例」に基づき取り組んでいる。この税制では、個人が自治体に寄附した場合、2千円を除いた金額が税金から控除される。市では、観光や産業の振興、歴史文化の保全継承、魅力あるふるさとづくりなどの事業に寄附金を活用している。また、5千円以上の寄附者には事業者等と協力し、国の基準に基づく返礼品を進呈している。また、地方創生応援税制（『企業版ふるさと納税制度』）にも取り組んでおり、内閣府から認定を受けた市の事業に対して民間企業が寄附した場合、有利な控除を受けることができる制度であることから、民間活力を得ることで力強く地方創生を進めていく。
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	◆寄附者ニーズの高い返礼品の開拓・既存返礼品のブラッシュアップ ◆寄附額の増加と地域経済の活性化の相乗効果を図り、現地決済型のふるさと納税を導入した。 ◆寄附の使い道に共感する新たな寄附者層の獲得を図り、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した。	◆寄附者ニーズの高い返礼品の開拓・既存返礼品のブラッシュアップ ◆現地決済型ふるさと納税に係る加盟店の開拓及び更なるPR ◆寄附者層の掘り起こし及びリピーター施策 ◆関連返礼品の特集等、「ばけばけ」との連動企画	◆寄附者ニーズの高い返礼品の開拓・既存返礼品のブラッシュアップ ◆現地決済型ふるさと納税に係る加盟店の開拓及び更なるPR ◆寄附者層の掘り起こし及びリピーター施策
	《企業版ふるさと納税》 ◆企業版ふるさと納税マッチング支援サービスの活用 ◆企業と自治体のオンラインマッチング会への参加。	《企業版ふるさと納税》 ◆企業版ふるさと納税マッチング支援サービスの活用 ◆特に寄附を募集する事業について、チラシの配布によるPR	《企業版ふるさと納税》 ◆企業版ふるさと納税マッチング支援サービスの活用 ◆特に寄附を募集する事業について、チラシの配布によるPR
	達成度		

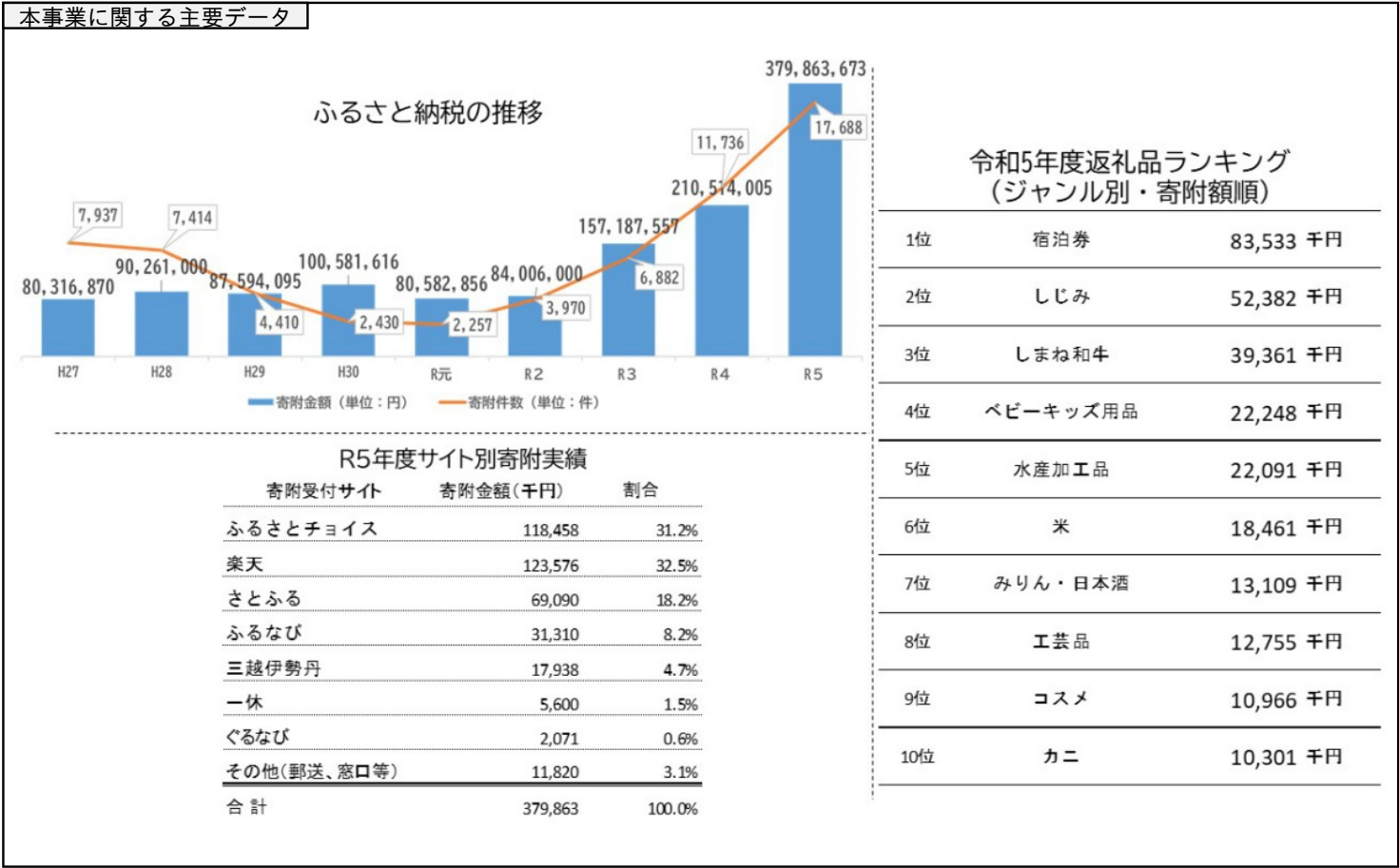
1	計画目標に向けて順調に推移
---	---------------

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
事業費		決算見込	当初予算
財源内訳	国・県支出金	251,760	301,709
	地方債		0
	その他		
	一般財源	21,518	180,000
	歳入合計	230,242	121,709
		251,760	301,709

課題	●他地域にはない魅力ある返礼品の開発 ●全国の寄附者への返礼品等の情報発信 ●新規松江ファンの獲得及びリピーターの定着化 ●寄附者情報の分析や他自治体の優良事例などの情報収集 ●「企業版ふるさと納税」の市外企業への積極的な提案	方向性	○返礼品提供事業者等と連携し、他地域にはない魅力ある返礼品の開発に取り組み、返礼品内容を充実させ、寄附件数、寄附額単価の向上を図る。 ○庁内の関係部署や市内事業者と連携し、HPやSNS、メルマガ等を活用した情報発信力の強化。 ○返礼品の見直しやポータルサイトの追加といった取り組み強化の効果の検証や寄附者情報の分析を行うことで、サイトの特性に合った返礼品の掲載や返礼品提供事業者の利便性向上など今後の取り組みを強化。 ○内閣府が開催する企業版ふるさと納税マッチング会への参加や、令和4年度後半に導入した企業版ふるさと納税マッチング支援サービスの更なる活用。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	ふるさとづくり寄附事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	R7年度ふるさと納税の受付開始	通年	企業版ふるさと納税マッチングサービスの活用
	通年	R7年度ふるさと納税返礼品の随時募集		
	通年	寄附者ニーズの高い返礼品の開発		
	通年	ふるさと納税・企業版ふるさと納税のPR		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,112	負担金補助及び交付金	174,605
職員手当等	1,620		
共済費	655		
旅費	100		
需用費	1,490		
役務費	92,330		
委託料	28,797		
事業費計		301,709	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	出身学生定住促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	学生自身の松江への想いの醸成や自己実現をサポートすることで本市との関係性を深め、ファーストキャリアとしての松江市内就業や将来的な転職やテレワークによるUターンなど、松江市内への定着につなげる。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		イベント参加者数（人）	3,914	500	500	500
		目標（何を達成するのか）				
	(R11年度) イベント参加者数：500人(単年)					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 イベント参加者数：2029（R11）年度 本事業は「出身学生とのつながりづくり創出事業」の後継事業として、学生による主体的な活動を支援していくとともに、若者同士の交流イベント等を開催し、松江市出身者同士のコミュニティ創出を図る。
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	（前身事業「出身学生とのつながりづくり創出事業」の実績） 1.NIGHT PICNIC MATSUE（交流イベント） 2.MATSUE PLAY PLAY PLAY（まちあるきイベント） 3.スサノオマジックホームゲーム観戦イベント ×2回 4.MATSUE学生祭の開催支援 5.MATSUE学生祭に向けた協働プロジェクトの企画運営	1.まちあるきイベント 2.MATSUE学生祭の開催支援	・交流イベントの開催
	達成度		

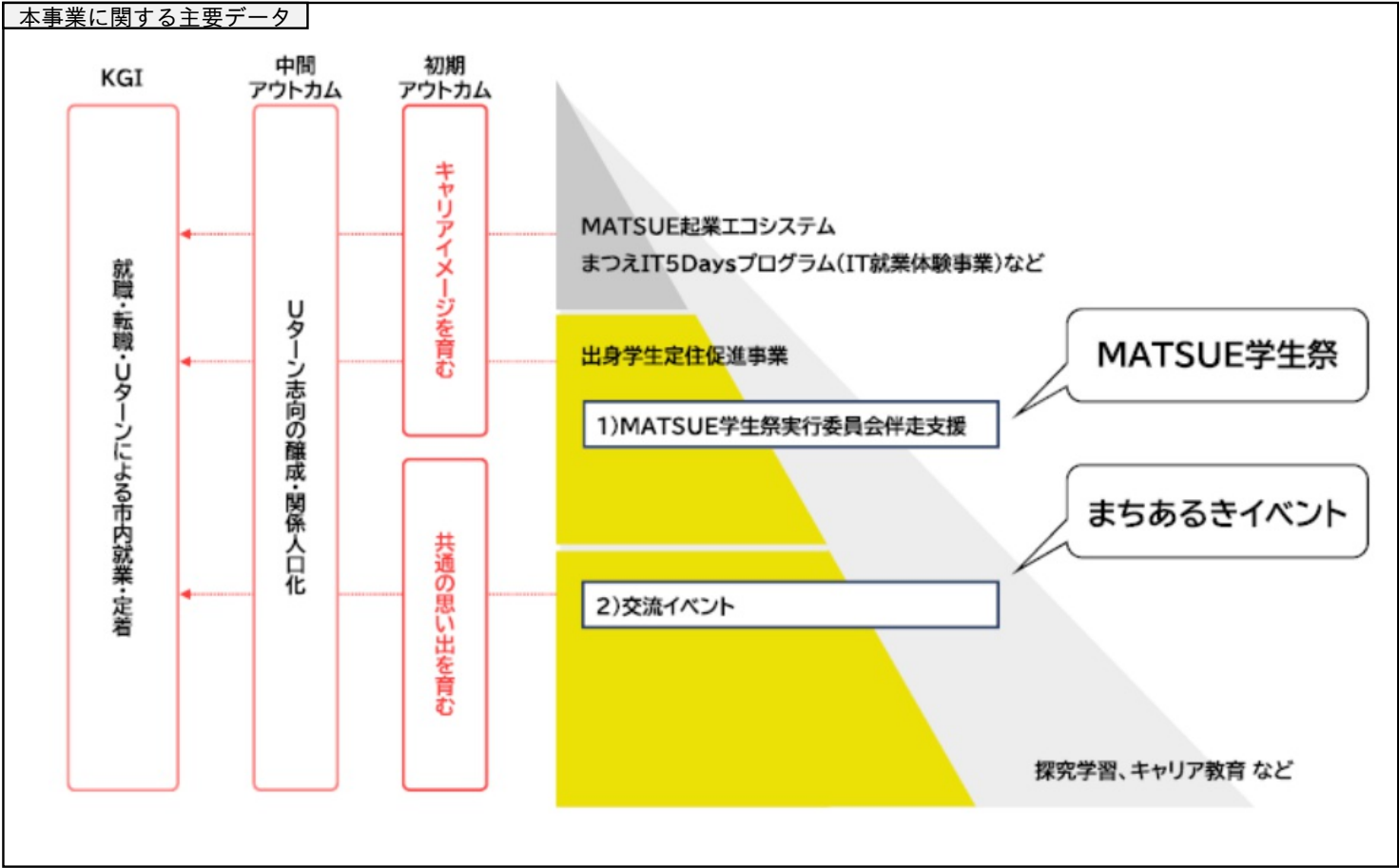
1	計画目標に向けて順調に推移
---	---------------

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	6,978	1,825
	国・県支出金	5,205	1,225
	地方債		
	その他		0
	一般財源	1,773	600
歳入合計		6,978	1,825

課題	・SNSが多様化しており、ターゲットとする学生たちへイベント情報を届けることが難しい ・高校と大学の年間スケジュールを加味した上でイベント実施日の設定に工夫と調整が必要	方向性	・県外の学校に通う学生も参加できるよう帰省時期に併せてイベントを設定する ・MATSUE学生祭のような学生による主体的な活動をサポートし、地域や企業との接点づくりをサポートすることで地元との関係を強め、地元志向を高める
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	出身学生とのつながり創出事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4-3月	事業実施		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	111		
委託料	1,714		
事業費計			1,825

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	まつえＩＴ就業体験プログラム事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	若年層の市外流出に歯止めをかけると共に、これまで本市が重点的に産業振興を行ってきた情報通信産業（IT産業）の人材不足解消を行う。	項目（成果指標） 就業体験プログラム参加者数（人）	R6実績見込 38	R7計画 60	R8計画 60	目標値 80
	目標（何を達成するのか）					
	（R11年度）就業体験プログラム参加者数：80人					
	R7年度事業リニューアルにより、目標値を更新するもの					

事業概要	・県内外の学生を対象として、IT業界や当市のIT産業施策の紹介や、スモウルビーなどのビジュアルプログラミング言語やノーコードツールを活用したアプリ開発体験を実施し、IT産業への就業体験の機会を提供する。 ・IT業界や市内IT企業、働く人を知ること就職時にIT業界・市内IT企業が選択肢となるような仕組みをつくる。
------	--

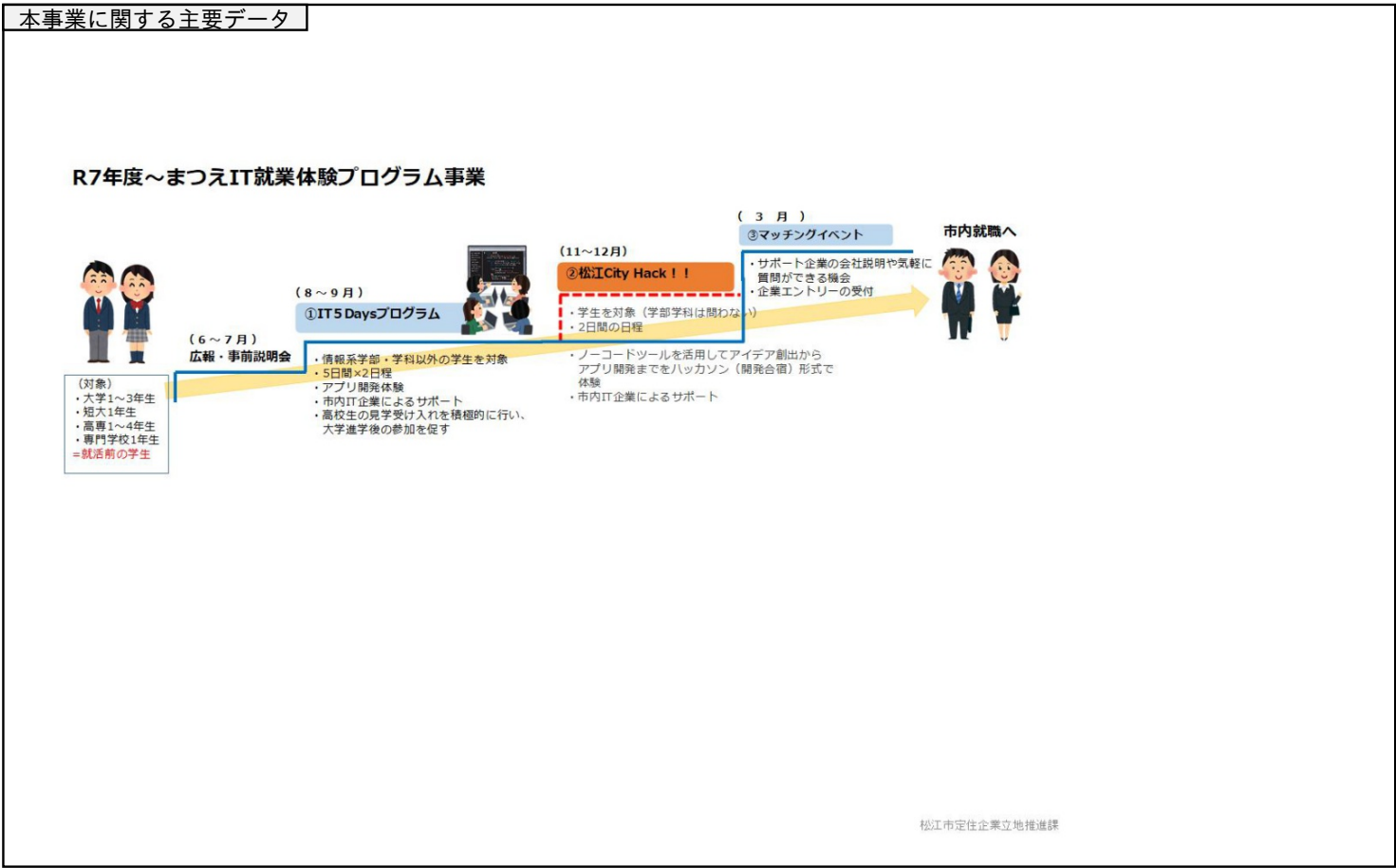
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	（参考） ・就業体験プログラム：2回開催 参加者38人、受入企業9社 ・事前説明会（オンライン）：参加者13人	・主に非情報系学生を対象とした就業体験である「まつえIT5Daysプログラム」と、情報系学部・学科の学生を対象としたIT人材育成プログラムである「松江City Hack」を統合し、新たなIT産業への就業体験プログラムとしてリニューアルする ・これまで効果的であった島根県や関係機関と連携した周知活動を実施して参加者を募集する ・R6年度のプログラム参加者の市内IT業界への応募動向を調査し効果検証を行う ・市内高校生の見学受け入れを実施し、進学後のプログラムへの参加を促す	・これまで効果的であった島根県や関係機関と連携した周知活動を実施して参加者を募集する ・R7年度のプログラム参加者の市内IT業界への応募動向を調査し効果検証を行う ・市内高校生の見学受け入れを実施し、進学後のプログラムへの参加を促す
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費		3,040
	国・県支出金		2,168
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	872
歳入合計		0	3,040

課題	・島根県外からの参加者を増やすため、島根県や関係機関と連携して参加者募集に努める ・特に「まつえIT5Daysプログラム」において、ITに苦手意識を持っている学生の参加にはハードルがあると考えられるため工夫したPRが必要	方向性	・旧事業では、参加者および企業からのプログラム満足度90%以上と高い評価を得ていたため、プログラム内容についてはこれまでのものをベースに実施する ・「まつえIT5Daysプログラム」は主に非情報系の学生がIT業界と接点を持つための「初めの一歩」の後押しとして、「松江City Hack」は情報系の学生も含め、IT産業に興味関心のある学生がよりIT企業での就業をイメージできるような内容にする ・市内IT企業での就業体験を通じて社員と交流することによってIT企業を身近に感じ、非情報系でもチャレンジできる環境やサポート体制があることを体感し、就職先の選択肢に加わる内容にする
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8-9月	事業実施（IT5）		
	11-12月	事業実施（CityHuck）		
	3月	事業実施（マッチングイベント）		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	90		
旅費	47		
委託料	2,750		
使用料及び賃借料	53		
負担金補助及び交付金	100		
事業費計		3,040	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	市内就職促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	学生に対して距離感の近い寄り添った支援や、気軽に楽しく参加でき企業を知ることのできる機会を創出することで、学生の地元企業就職を促進させ、松江市内定着を目指す。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		相談件数（学生）（件）		20	20	20
	目標（何を達成するのか）	イベント参加者満足度（%）		80	80	80
	相談件数（学生）年20件 イベント参加者満足度80%以上					

事業概要	・学生や若手社会人との人間関係を日常から構築し、企業や地域の人、自治体など地域社会と必要に応じて繋ぐハブとなる人材を配置する。同時に市内就職を検討する相談者の掘り起こしを行い、適切なタイミングで各種就職情報の提供や本市の就業支援コーディネーターへの紹介などを行う。 ・高校生、学生、その保護者を主な対象とした市内企業見学バスツアーの実施
------	---

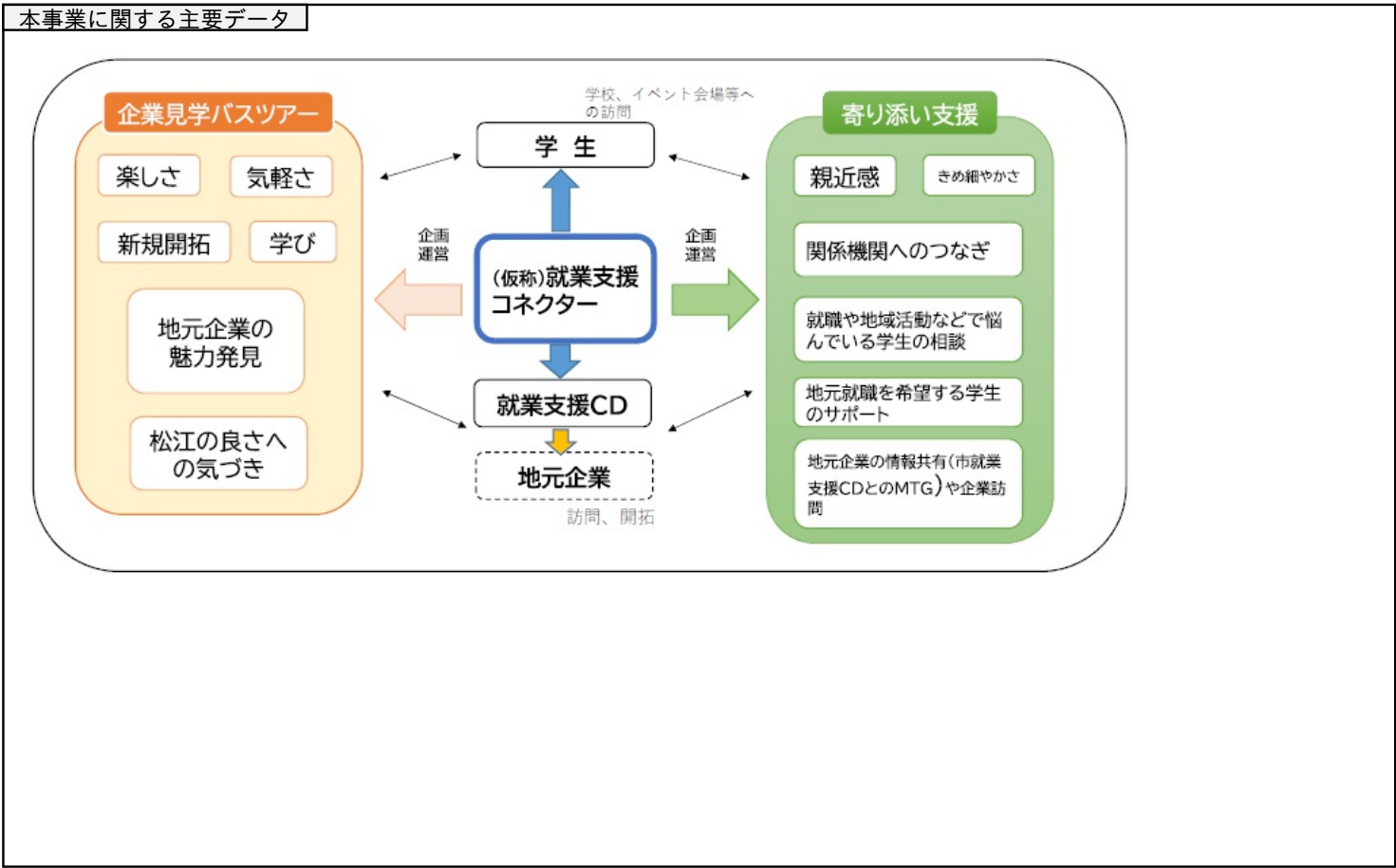
事業計画	R6実績見込		R7計画	R8計画
			①寄り添い支援（「就職支援コネクター」による学生及び地元企業への支援） ②地元企業を知ることのできるイベントを実施	①寄り添い支援（「就職支援コネクター」による学生及び地元企業への支援） ②地元企業を知ることのできるイベントを実施
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費			2,235
財源内訳	国・県支出金		1,675
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	560
歳入合計		0	2,235

課題	・松江の魅力への気づきや愛着向上を目指すとともに、地元企業を知る機会を創出することで「地元企業への就職と定住」を促進する取組を強化する。	方向性	・学生に対して距離感の近い寄り添った支援や、気軽に楽しく参加でき企業を知ることのできる機会を創出する。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7-3月	事業実施		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	20		
委託料	1,426		
使用料及び賃借料	789		
事業費計		2,235	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	郷土行事等振興事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	伝統行事や伝統文化の保存継承	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		数値目標とすることに馴染まない				
	目標（何を達成するのか）					
	・「松江祭鑿行列」及び「宵宮（前夜祭）」の開催 ・「菊花展」の開催					

事業概要	【松江祭鑿行列】 10月の第3土曜日と日曜日に、鑿保有町内及び鑿保有団体による宵宮（土曜日）と鑿行列（日曜日）を開催する。 （令和7年度参加予定数） 宵 宮：7団体 鑿行列：17団体 【鑿まつり開催補助】 令和4年度：6団体が参加 令和5年度：雨天により中止 令和6年度：8団体が参加 【鑿行列振興修繕補助】 鑿行列の保存継承のため、鑿の修繕を補助するもの。 【松江菊花展】 10月中旬～11月初旬に文部科学大臣賞を最高位に松江城馬溜広場で開催。
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	【鑿行列】 10月20日（日） 109回目の鑿行列を実施。 ・参加団体数：16団体（2,400人） ・観覧者数：70,000人 【宵宮（前夜祭）】 雨天のため、中止。 【鑿まつり】10月5日（土） 8団体が参加して松江城大手前駐車場にて開催。（来場者数4,000人） 【鑿修繕】 北殿町、灘町、鑿友会の3地区の鑿を修繕。 【菊花展】11月2日（土）～ 11月17日（日） 松江城馬溜で菊の展示を実施。 ・応募者数：47 ・来場者数：77,000人	【鑿行列】 10月19日（日） 110回目の鑿行列を実施予定。 【宵宮（前夜祭）】10月18日（土） 松江市内の橋北・橋南の計2箇所で見光客や市民など鑿たたき体験を実施予定。 【菊花展】 11月4日（火）～11月19日（水） 松江城馬溜で菊の展示を実施予定 【鑿まつり】10月4日（土） 松江城大手前駐車場にて開催予定 【鑿修繕】 横浜町、北堀町、内中原町、芋町の4団体の鑿を修繕予定。	【鑿行列】 10月の第3日曜日に開催 111回目の鑿行列を実施予定。 【宵宮（前夜祭）】鑿行列の前日に開催 松江市内の橋北・橋南の計2箇所で見光客や市民など鑿たたき体験を実施予定。 【菊花展】 11月上中旬に開催 松江城馬溜で菊の展示を実施予定 【鑿まつり】 松江城大手前駐車場にて開催予定 【鑿修繕】 各団体に希望調査を実施し、修繕する団体を決定する。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		13,160	14,185
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		1,020
	一般財源	13,160	13,165
歳入合計		13,160	14,185

課題	【鑿行列】 各町内・団体とも、地域の人口減少に伴い、参加者数が減少している。特にこどもの参加者の確保が困難になっており、地域外からの参加や学校と連携した取組を検討する必要がある。 【宵宮（前夜祭）】 集客を鑿行列にどのように生かしていくか検討が必要。 【菊花展】 ・会員の高齢化にともない、出品者数が減少している。また、出品者が固定化していることから、より幅広くに募集をかける必要がある。 ・後継者の確保、育成。	方向性	【鑿行列】 鑿行列保存会の後継者育成と参加団体数の確保、ならびに市民への普及と浸透を図る。 【菊花展】 市報、ケーブルテレビ、チラシ等の媒体を利用して、菊花展の開催及び作品募集のPRを事前に行う。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	第1回理事会（総会）開催		
	7月	順決め		
	10月	鑿まつり、宵宮、鑿行列開催		

本事業に関する主要データ								
●鑿行列								
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
構成団体数	31	31	31	31	31	31	31	31
参加団体数	21	16	17	中止	中止	14	16	16
参加人数	2,266	1,736	1,970	中止	中止	1,005	1,700	2,400
観覧者数	50,000	80,000	85,000	中止	中止	90,000	85,000	70,000
●鑿宮								
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
参加団体数	7	12	9	中止	中止	6	9	中止
観覧者数	5,000	9,000	7,000	中止	中止	5,000	7,000	中止
●鑿まつり（水燈路に併せて鑿行列の約2週間前に開催）								
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
参加団体数	10	7	8	中止	中止	6	中止	8
●菊花展								
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
出品者数	49	51	49	49	54	48	47	47
うち県内	40	42	42	41	48	42	44	44
うち県外	9	9	7	8	6	6	3	3
開催日数	16	14	15	14	15	16	16	15
来場者数	75,000	80,000	80,000	54,000	42,000	66,000	71,000	77,000
会員数	67	63	63	62	71	68	79	78

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	5,100		
委託料	7,980		
負担金補助及び交付金	1,105		
事業費計		14,185	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	郷土芸能継承発展経費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	本市の貴重な伝統芸能文化の継承、発展を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		数値目標とすることに馴染まない				
	目標（何を達成するのか）					
	地域伝統芸能祭の開催や保存団体等の支援を通して、伝統芸能文化の継承の機運を高める。					

事業概要	【松江市伝統芸能文化保護育成協議会】 松江市の伝統行事の保護育成を目的とする松江市伝統芸能文化保護育成協議会（23団体）に対し補助を行う。 ■事業の目的：当協議会が行う伝統芸能等の啓発・発信にかかる取り組みや後継者の確保・育成に繋がる事業等に対し補助を行い、伝統芸能等に対する市民の理解を深めるとともに、これらの保存・継承を図る。 【佐陀神能継承事業】 佐陀神能の指導に使用している教本が古くなり、冊数も残りわずかとなっている。佐陀神能を継承するためには必須の本であるため、内容を更新して作成するもの。☒補助事業で実施する
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○松江伝統芸能祭の開催 ・出演団体：加盟団体他7団体 ・会場：さんびる文化センタープラバホール ○松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金（23団体） ・活動助成（4万円） ・情報提供（各種支援制度など） ・研修会の開催	○松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金（23団体） ・活動助成（4万円） ・情報提供（各種支援制度など） ・後継者育成支援事業（3万円、申請団体のみ、3年に1度）	○松江伝統芸能祭の開催 ・出演団体（仮）：加盟団体他8団体 ・会場：さんびる文化センタープラバホール ○松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金（23団体） ・活動助成（4万円） ・情報提供（各種支援制度など） ・後継者育成支援事業（3万円、申請団体のみ、3年に1度）
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		3,720	1,631
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他	1,860	920
	一般財源	1,860	711
歳入合計		3,720	1,631

課題	・地域の人口減少や保存団体の高齢化などの影響により、後継者の確保や活動の継続が難しくなっている。	方向性	・継続して保存団体の支援を行うとともに、伝統芸能祭の開催や発信を通して、若い世代を含む多くの市民に伝統芸能文化の魅力に触れてもらい、継承・発展につなげていく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ	
■加盟団体：23団体	
地域別：旧松江市13、鹿島町2、島根町1、美保関町2、八束町1、八雲長1、宍道町1、東出雲町2	
・伝承ホーランエンヤ馬淵権伝馬保存会	
・損夜神社奉賛会	
・松江市琴行列保存会	
・亀尾神能保存会	
・正調関乃五本松節保存会	
・平濱八幡宮トーレトーレ御神事	
・佐陀神能保存会	
・魚瀬左吉兆とんど行事	
・秋鹿大日堂御頭行事保存会	
・伝承ホーランエンヤ矢田保存会	
・伝承大井ホーランエンヤ保存会	
・福富ホーランエンヤ保存会	
・大海崎伝承ホーランエンヤ保存会	
・神魂神社禰家神事	
・本庄町左義長しゃぎり保存会	
・八重垣神社身隠し神事	
・佐太神社古伝神事保存協会	
・美保神社神事保存会	
・熊野大社伶人会	
・宍道町角道協会	
・島芝節保存会	
・陣幕会	
・島根町大漁節保存会	

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	1,631		
事業費計		1,631	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	スピーチコンテスト事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	小泉八雲（ヘルン、ラフカディオ・ハーン）が文筆を通じて日本や松江を世界に紹介した功績をたたえ、作品を英語で暗唱することによって、青少年の英語表現力や国際性を高めることを目的としている。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		参加者数（人）	39	50	50	50
		県内参加人数（人）	21	30	30	30
	目標（何を達成するのか）	参加校（校）	26	30	30	30

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 参加者数（人）：2029(令和11)年度 項目名 県内参加人数（人）：2029(令和11)年度 項目名 参加校（校）：2029(令和11)年度 「ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト」は、小泉八雲（ヘルン、ラフカディオ・ハーン）が文筆を通じて日本や松江を世界に紹介した功績をたたえ、作品を英語で暗唱することによって、青少年の英語表現力や国際性を高めることを目的に、年に1回、八雲の命日9月26日前後に松江で開催している。 コンテストには、駐日アイルランド大使を招待しており、松江とアイルランドの交流の機会にもなっている。 【開催概要】第59回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト 開催日：令和7年9月21日（日） 会場：さんびる文化センタープラバホール
------	---

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	【日時】令和6年9月22日（日）9:30－18:00		【日時】令和7年9月21日（日）9:30－18:00		【日時】令和8年9月27日（日）9:30－18:00	
	【会場】さんびる文化センタープラバホール		【会場】さんびる文化センタープラバホール		【会場】さんびる文化センタープラバホール	
	ジュニアの部：22人		ジュニアの部：25人		ジュニアの部：25人	
	シニアの部：17人		シニアの部：25人		シニアの部：25人	
達成度						
1	計画目標に向けて順調に推移					

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,075	1,214
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		1,214
	一般財源	1,075	0
歳入合計		1,075	1,214

課題	・運営都合上、各学校からの出場者数に制限を設けているため、各学校の理解・協力が必要 ・英語がネイティブな生徒が増えており、出場者レベルが上がりすぎている ・市内参加者数を増やす	方向性	・教育委員会を通じて校長会等で各学校への参加協力依頼 ・SNS等を利用した情報発信の強化 ・参加者レベルに合わせた部門検討
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～8月	参加者募集		
	9月下旬	スピーチコンテスト開催		

本事業に関する主要データ							
年度	平成29年度 (第51回)	平成30年度 (第52回)	令和元年度 (第53回)	令和2年度 令和3年度	令和4年度 (第56回)	令和5年度 (第57回)	令和6年度 (第58回)
参加者数合計	62	54	45	中止	42	28	39
うち市内	27	20	21		13	12	14
うち市外	35	34	24		29	16	25
ジュニア	37	28	25		25	19	22
うち市内	16	10	12		7	6	7
うち市外	21	18	13		18	13	15
シニア	25	26	20		17	9	17
うち市内	11	10	9		6	6	7
うち市外	14	16	11		11	3	10

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	112		
役務費	42		
委託料	1,060		
事業費計		1,214	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	こども塾スーパーへるんさん講座事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江ゆかりの文学者である小泉八雲の顕彰を図るとともに、八雲の感性を通じて松江や日本文化を再発見する機会とするもの	項目（成果指標） 実施校数（校）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
			1	3	3	5
	目標（何を達成するのか）					
	講座を受講したこどもの豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深める。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 実施校数（校）： 2029(令和11)年度
	・小学生を対象に、松江ゆかりの文学者である小泉八雲について学ぶ場を提供することにより小泉八雲の顕彰を図るとともに、主として小泉八雲の感性を通じて松江や日本文化を再発見する機会とするもの。 ・平成16年度から平成28年度は、市内の小学4年生から中学3年生までを対象に参加者を公募し、夏休みに実施していたが、平成29年度からは小学校と連携して実施するスタイルに変更した。

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	以下の学校を対象に小泉八雲の学習を実施した。 【実施校】古江小学校（4年生） 【内容】講義、五感を使った活動、まちあるき、発表		以下の学校を対象に小泉八雲の学習を実施する。 【実施校】古江小学校（4年生）、恵曇小学校（3・4年生複式）、大野小学校（3・4年生複式） 【内容】講義、五感を使った活動、まちあるき、発表		参加希望校を対象に小泉八雲の学習を実施する。 【内容】講義、五感を使った活動、まちあるき、発表	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		127	295
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		295
	一般財源	127	0
歳入合計		127	295

課題	特になし	方向性	引き続き教育委員会と連携し、これまで参加してこなかった学校にも参加を呼びかける。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月～11月	こども塾スーパーへるんさん講座開催		

本事業に関する主要データ							
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
参加者数	58人	60人	167人	50人	38人	42人	30人
参加校数	1校	1校	4校	1校	1校	1校	1校
参加校詳細	中央小4年生	中央小4年生	古江小4年生 来待小4年生 損屋小4年生 竹矢小4年生	古江小4年生	古江小4年生	古江小4年生	古江小4年生

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	14		
需用費	10		
使用料及び賃借料	271		
事業費計		295	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	作品普及事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の功績をたたえ、その作品を対象とする感想文・詩の募集を行うことにより、八雲の作品の読書をすすめ、豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深めることを目的とする。	項目（成果指標） 応募作品数（件）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
			112	120	120	120
	目標（何を達成するのか）	松江市内応募作品数（件）	7	20	20	20
	「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施し、小泉八雲作品の普及および読書の推進をはかり豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深める。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 応募作品数（件）：2029(令和11)年度 項目名 松江市内応募作品数（件）：2029(令和11)年度
	小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の功績をたたえ、その作品を対象とする感想文・詩の募集を行うことにより、八雲の作品の読書をすすめ、豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深めることを目的とする。

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・誌の募集事業を実施する。（感想文第39回、詩第36回） 応募数112作品（感想文77作品、詩35作品）		小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・誌の作品コンクール事業を実施する。（感想文第40回、詩第37回） 応募数（目標）120作品（感想文80作品、詩40作品）		小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・誌の作品コンクール事業を実施する。（感想文第41回、詩第38回） 応募数（目標）120作品（感想文80作品、詩40作品）	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		292	305
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		305
	一般財源	292	0
歳入合計		292	305

課題	・市内からの応募者が少ない（令和5年度：2名、令和6年度：7名）	方向性	・教育委員会との連携強化 ・SNS等を使用した情報発信強化

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月～12月	作品募集		
	2月	審査会		
	3月	表彰式		

本事業に関する主要データ											
年度	感想文				小計	（作詞・）詩				小計	合計
	小学生	中学生	高校生	一般		小学生	中学生	高校生	一般		
R6	3(1)	18(1)	4	52(2)	77(4)	2	0	2(1)	31(2)	35(3)	112(7)
R5	1(1)	0	9	19(1)	29(2)	0	1	0	21	22	51(2)
R4	5(1)	5	12	23	45(1)	0	0	0	28(1)	28(1)	73(2)
R3	4(1)	4	26	50(2)	84(3)	0	0	1	50(1)	51(1)	135(4)
R2	27 (4)	9	25	66(1)	127(5)	1	0	1	50	52	179(5)
R1	2	1	32(1)	61(2)	96(3)	2	1	0	38	41	137(3)

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	35		
役務費	21		
委託料	249		
事業費計		305	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	茶の湯文化振興費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」・「松江市茶の湯条例」に基づき、茶の湯を通じた文化と産業の振興を図るとともに、将来へ発展的に継承し、「茶の湯のまち・松江」の実現を図る	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		「茶の湯の日」PR協力店舗数（店）	38	40	40	40
		「松江藩ちゃのゆの学校」受講者数（人）	109	150	150	150
	目標（何を達成するのか） 茶の湯文化に触れる機会の創出・拡充	茶の湯関連イベント参加者数（人）	2,513	2,600	2,600	2,600

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 「茶の湯の日」PR協力店舗数（店） ： 2029(令和11)年度 項目名 「松江藩ちゃのゆの学校」受講者数（人） ： 2029(令和11)年度 項目名 茶の湯関連イベント参加者数（人） ： 2029(令和11)年度
	【茶の湯の日】 「松江市茶の湯条例（平成31年4月施行）」で制定した「茶の湯の日（4月24日）」に係る機運の醸成を図り、茶の湯文化の市民の理解及び茶の湯文化関係事業者の振興を図るとともに、「茶の湯のまち松江」の実現のため官民連携して実施するもの。 【松江藩ちゃのゆの学校】 主に茶道未経験者向けに「抹茶・お菓子のいただき方」「お点前のいろは」を教える出前講座「松江藩ちゃのゆの学校」を実施する。まずは茶の湯文化を体験し、松江の茶の湯文化の歴史や意義を理解してもらい、茶道各流派の後継者育成のきっかけづくりとするもの。 【茶の湯文化振興補助金】 「和菓子」「お茶」「食」といった切り口から茶の湯文化体験イベントやシンポジウムを実施する団体に補助を行う。年間を通して気軽に茶の湯文化に触れることのできる企画を実施し、茶の湯文化を未来へと繋げる。 【松江城大茶会】 松江城大茶会は、日本三大茶会の一つとして、松江の秋の風物詩として定着している。大衆性を重視し、広く一般を含めた市民レベルの茶会として開催されており、「茶どころ松江」を市内外に発信することに多大な貢献をしている。また、県外からの誘客効果も大きく、観光振興にも寄与している。 【茶の湯文化説明パンフレット】パンフレットにおいて、松江の茶の湯文化や「茶の湯の日」に関する説明や菅田庵など松平不昧公ゆかりの茶室を紹介する。 またパンフレットを手にとった人をLINE公式アカウントで開催するスタンプラリーに誘導することで、松江市内の茶処を周遊させる仕組みを構築する。 【孤蓮庵等茶会への出席】松平不昧公が再建した茶室「大蔵寺孤蓮庵」で開催される茶会に出席する。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	【茶の湯の日PR】 ・ポスター・のぼり掲示 ・茶の湯関連商品の特売 ・学校給食で抹茶特別メニュー（罐の抹茶揚げ、タラの抹茶塩かけなど）を提供 【茶の湯の日イベント】 ＜4月＞ 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 ＜10月＞ 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 【松江藩ちゃのゆの学校】 7団体計109人が参加 【食文化シンポジウム】 実績なし 【松江城大茶会】 日程：10月26日・27日 会場：松江歴史観、明々庵草亭、赤山茶道会館、月照寺、東林寺、松江北堀美術館、松江城馬溜	【茶の湯の日PR】 ・ポスター・のぼり掲示 ・茶の湯関連商品の特売 ・学校給食で抹茶特別メニュー（罐の抹茶揚げ、タラの抹茶塩かけなど）を提供 【茶の湯の日イベント】 ＜4月26日、27日＞ 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 ＜10月19日、20日＞ 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 【松江藩ちゃのゆの学校】 募集案内予定 【食文化シンポジウム】 会場：未定 日程：未定 【松江城大茶会】 日程：未定 会場：未定	【茶の湯の日PR】 ・ポスター・のぼり掲示 ・茶の湯関連商品の特売 ・学校給食で抹茶特別メニュー（罐の抹茶揚げ、タラの抹茶塩かけなど）を提供 【茶の湯の日イベント】 ＜4月＞ 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 ＜10月＞ 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 【松江藩ちゃのゆの学校】 募集案内予定 【食文化シンポジウム】 会場：未定 日程：未定 【松江城大茶会】 日程：未定 会場：未定
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		3,142	3,608
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他	1,700	3,608
	一般財源	1,442	0
歳入合計		3,142	3,608

課題	・若い世代への茶の湯文化の継承 ・茶の湯文化に関係する事業者との連携	方向性	・和菓子店等と連携して「茶の湯の日」の取り組みを推進 ・SNS等を利用した情報発信の強化

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	茶の湯の日イベント（春）の開催		
	10月	茶の湯の日イベント（秋）、松江城大茶会の開催		
	1月	食文化シンポジウムの開催		
	通年	茶の湯文化に関する情報発信、松江藩茶の湯の学校の開催		

本事業に関する主要データ						
■「茶の湯の日」PR協力店舗						
年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
店舗数	56	62	45	47	43	38
■「茶の湯の日」市内給食提供数						
年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
提供数	170,000	194,000	20,100	20,000	18,000	15,000
小中学校生徒数参考						
■松江藩ちゃのゆの学校						
年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
受講者数	8	0	0	34	82	109
■茶の湯の日イベントの開催						
年度	R2	R3	R4	R5	R6	
参加者数	626	1,059	1,567	1,937	2,513	
R6.4と10イベント合計参加者数						
■食文化シンポジウムの開催						
年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
参加者数	200	30	中止	60	－	－
■松江城大茶会						
年度	R3	R4	R5	R6		
参加者数	中止	1948	2658	2763		
後援会数（社・団体）	中止	17	18	15		

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	84		
旅費	124		
需用費	169		
役務費	11		
委託料	400		
負担金補助及び交付金	2,820		
事業費計		3,608	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	文化力を生かしたまちづくり推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市民の暮らしの根底にあり、市民の誇りとなりうる力「松江の文化力」を次世代に受け継ぎ、住む人、訪れる人、誰もが心豊かになれるまちを実現する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		数値目標とすることに馴染まない				
	目標（何を達成するのか）					
	伝統文化芸術の振興を図り、松江の文化力を生かしたまちづくりを推進する。					

事業概要	誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまちを目指して、令和3年3月に「松江の文化力を生かしたまちづくり条例（以下、「条例」という）」を制定するとともに、「松江市伝統文化芸術振興計画（以下、「振興計画」という。）」を策定し、令和4年3月には、「松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画（以下、「実施計画」という。）」を策定した。 条例において、松江市伝統文化芸術振興審議会（以下、「審議会」という）が振興計画の推進に関する施策や実施計画の評価・検証を行うこととなっており、年に2回審議会を開催・運営する。 【開催予定】 令和7年度第1回審議会（令和7年9月） 令和7年度第2回審議会（令和8年3月） ※文化振興基金繰入金充当候補
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・パンフレット等による条例や振興計画の周知 ・審議会の設置及び開催 第1回審議会：9月26日開催 第2回審議会：3月26日開催 ・「松江市伝統文化芸術振興計画第2期実施計画」の策定	・パンフレット等による条例や振興計画の周知 ・審議会の設置及び開催 第1回審議会：9月下旬開催予定 第2回審議会：3月下旬開催予定 ・庁内連絡会議の開催 ・「松江市伝統文化芸術振興計画第2期実施計画」のローリング	・パンフレット等による条例や振興計画の周知 ・審議会の設置及び開催 第1回審議会：9月下旬開催予定 第2回審議会：3月下旬開催予定 ・庁内連絡会議の開催 ・「松江市伝統文化芸術振興計画第2期実施計画」のローリング
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
事業費		決算見込	当初予算
財源内訳	国・県支出金	223	623
	地方債		
	その他	223	623
	一般財源	0	0
	歳入合計	223	623

課題	第1期実施計画の取組みを踏まえ、七つの柱に共通する「4つの課題」を設定。 ①効果的な情報発信 ②鑑賞・体験・学習の機会の確保 ③後継者・担い手育成 ④資金確保	方向性	・松江の文化力を支える七つの柱について「知る」「育てる」「伝える」「創造する」「活用する」「支える」の六つの取組の視点を取り入れながら、振興を図る。 ・4つの課題ごとに、めざすべき姿の実現へ向けて重点的かつ網羅的に取組みを進める。 ・伝統文化芸術の振興を効率的、効果的に取り組むため、関係部署や関係団体などとの連携を図る。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	9月	第1回松江市伝統文化芸術振興審議会		
	3月	第2回松江市伝統文化芸術振興審議会		

本事業に関する主要データ	
松江の文化力を生かしたまちづくり条例 めざすべきまちの姿：誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまち	R3年3月制定
松江市伝統文化芸術振興計画 計画期間：令和3年度～令和14年度（12年間）	R3年3月策定
第1期 実施計画 令和3～6年度（4年間） 種まき期 実施計画策定前から取り組んでいる事業のほか、現状や課題を踏まえ、取り組むべき施策や事業を推進していきます。  第2期 実施計画 令和7～10年度（4年間） 成長期 改めて種をまく事業、第1期の課題を修正し、充実させて継続する事業など、次の段階として取り組むべき施策や事業を推進していきます。  第3期 実施計画 令和11～14年度（4年間） 収穫期 第1期、第2期の課題や実績を検証し、振興計画を総括するとともに、長期的展望の中で取り組むべき施策や事業を推進していきます。 	R6年3月策定
第2期実施計画で設定をする4つの課題 01 効果的な情報発信 もっと知りたくなる・伝えたくなる 02 鑑賞・体験・学習の機会の確保 誰もが「みて・ふれて・まなぶ」 03 後継者・担い手育成 担い手が育つ・文化につながる 04 資金確保 応援したくなる、され続ける	

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	242		
旅費	315		
需用費	10		
役務費	12		
委託料	44		
事業費計		623	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江城・史料調査課	地域の文化財調査・発信事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「誰もが松江の歴史文化を誇りに思い、こころ豊かになれるまち」実現のため	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		地域調査実施公民館区数（累計）	6	7	9	29
	目標（何を達成するのか）					
	「松江市文化財保存活用地域計画」に基づき、公民館区ごとに地域住民とともに文化財調査を実施することにより、地域ごとの歴史的特徴を明らかにするとともにその魅力を発信する。					

事業概要	〔数値目標の目標年度〕 地域調査実施公民館区数（累計）：2029（令和11）年度 ・地域に残る歴史史料（古文書等）を中心に、その所在や内容を調査し、実態把握と保存の措置をとる。 ・調査の成果は公民館を中心とした地域と共有するとともに、松江市歴史叢書や歴史史料集の発刊、SNSやWeb講座、松江歴史館での展示等に反映する。
	①地域別文化財調査 ・古文書悉皆調査…松江市域の公民館区ごとに古文書調査を実施。悉皆的に所在を把握するとともに保存の措置を図る。 ・地域住民との連携…調査に当たっては地域の歴史に詳しい方や、子どもたちからも情報を集めるなど協力を求める。 ・専門家の助言…近世・近現代をはじめとする文献史料や、絵図・地図、民俗文化財など各方面の専門家の協力を求める。 ②地域の文化財情報の発信 ・調査で得られた成果は地域と共有することとし、公民館での発表、各種刊行物やWeb講座等で積極的に発信する。 ・SNS等を通じて市域内外の若い世代や子供たちにも分かりやすい情報発信を行う。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・公民館区ごとの古文書所在確認調査（朝酌・川津・秋鹿・東出雲） →講座等による成果発表（持田） ・市内に存在する文書の調査・整理・目録作成 ・歴史史料の解説作業、松江市歴史叢書18・松江市歴史史料集8の発刊 ・Web講座の開催、HPやSNSによる歴史・史料情報の発信 →Web講座3本・調査コラム7本・X（旧Twitter）投稿約100回（フォロワー数1,429人）	・公民館区ごとの古文書所在確認調査（川津・秋鹿・東出雲・古江） →公民館展示・座談会等による成果発表 ・市内に存在する文書の調査・整理・目録作成 ・歴史史料の解説作業、松江市歴史叢書19の発刊 ・Web講座の開催、HPやSNSによる歴史・史料情報の発信	・公民館区ごとの古文書所在確認調査（東出雲・古江・島根・大野） →公民館展示・座談会等による成果発表 ・市内に存在する文書の調査・整理・目録作成 ・歴史史料の解説作業、松江市歴史叢書、松江市歴史史料集の発刊 ・Web講座の開催、HPやSNSによる歴史・史料情報の発信
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費		10,732
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		1,283
	一般財源	0	9,449
歳入合計		0	10,732

課題	地域に残る歴史史料の調査と保存の措置、研究と活用が求められている。	方向性	・史料の所在確認調査を行い、保存措置を施し、貴重な史料の散逸を防ぐ。 ・史料調査と研究の成果を刊行物の発刊や講座の開催等を通して地域と共有し、市民の地域に対する誇りと愛着を醸成する。
----	-----------------------------------	-----	--

文化スポーツ部松江城・史料調査課 地域の文化財調査・発信事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	～8月	松江市歴史叢書19原稿執筆	随時	調査コラム・Web講座配信
	3月	松江市歴史叢書19発刊		
	通年	古文書所在確認調査		
	随時	古文書写真撮影		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	4,332	委託料	293
職員手当等	1,664	使用料及び賃借料	15
共済費	1,068		
報償費	1,003		
旅費	249		
需用費	2,006		
役務費	102		
事業費計		10,732	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	松江の文化力次世代育成・継承事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「松江の文化力」を再認識し、未来を担う子どもたちはもとより、世代を超えて誰もが心豊かになれるまちを実現する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		講座・教室、イベント実施件数（件）	14	6	6	6
		講座・教室、イベント参加者数（人）	529	250	250	250
	目標（何を達成するのか）	補助金の活用団体数（件）	1	10	10	10

事業概要	（数値目標の目標年度）
	項目名 講座・教室、イベント実施件数（件）：2029(令和11)年度
	項目名 講座・教室、イベント参加者数（人）：2029(令和11)年度
	項目名 補助金の活用団体数（件）：2029(令和11)年度
	令和3年度に策定した「松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」で松江の文化力を支える七つの柱に共通して取り組むこととしている「人財育成」の事業として、こどもとその保護者が伝統文化や文化芸術に触れる機会を提供する「松江の文化力体験推進事業」、地域の伝統行事に携わる団体が実施する活動を支援する「地域に根づく伝統文化継承事業補助金」を実施する。
	【松江の文化力体験推進事業】伝統文化や文化芸術の講座・体験教室の開催 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 内容：地域の伝統行事を行う団体の活動を支援する。 上限：50,000円 10団体（500,000円）

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	【松江の文化力体験推進事業】 ・伝統文化や文化芸術の講座や体験教室 開催数：9件 参加者数：358人 （「親子でワクワク弦楽器体験」、「そば打ち体験&出雲弁で紙芝居」など） ・伝統文化や文化芸術の体験イベント 開催数：5件 参加者数：171人 （「江戸時代から伝わる片江の墨付けとんど祭り 親子体験ツアー」など） 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 交付数：1団体	【松江の文化力体験推進事業】 ・伝統文化や文化芸術の講座や体験教室、体験イベントを開催する（6件） 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・補助金を交付し、地域の伝統行事の保存・継承を支援する。（10件） ・広く補助金について周知する。	【松江の文化力体験推進事業】 ・伝統文化や文化芸術の講座や体験教室、体験イベントを開催する（6件） 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・補助金を交付し、地域の伝統行事の保存・継承を支援する。（10件） ・広く補助金について周知する。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
事業費		決算見込	当初予算
財源内訳	国・県支出金	4,313	2,500
	地方債		
	その他	4,313	2,500
	一般財源	0	0
	歳入合計	4,313	2,500

課題	【松江の文化力体験推進事業】 ・こどもと保護者が興味関心を持って楽しく学び体験できるよう、講座や体験教室の内容等について検討する必要がある。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・「地域に根づく伝統文化継承事業補助金」の申請数が少ない。	方向性	【松江の文化力体験推進事業】 ・こどもと保護者をメインターゲットとして市民に松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供することで、松江の文化力への関心を高め、郷土愛の醸成を育み、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・地域に根づく伝統行事の保存や継承の取り組みを支援し、伝統行事の継承を図る。 ・市報への掲載やSNS等の活用による情報発信を強化し、制度を広く周知する。

文化スポーツ部文化振興課 松江の文化力次世代育成・継承事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	講座・体験教室の開催		
	通年	体験イベントの開催		
	通年	補助金の申請受付、交付		

本事業に関する主要データ

松江の文化力体験推進事業

Target

子どもと保護者

Goal

松江の文化って楽しい

①講座・体験教室
・「そば打ち体験&出雲弁で紙芝居」など七つの柱をテーマに講座や体験教室を開催する。

②体験イベント
・島根スサノオマジックホームゲームに併せて会場で和菓子体験教室を開催するなど、既存イベントに併せて伝統文化芸術を体験できる機会を提供する。

文化施設で

バスケットボール会場で

地域に根づく伝統文化継承事業補助金

Target

地域の伝統行事を担う団体など

Goal

伝統行事の 継承
後継者・担い手の 育成

①補助対象事業
・地域に根づく伝統文化が将来にわたって継承されていくよう、写真や動画として記録・保存する事業
・記録・保存のための伝統行事等の開催（活用例）行事を撮影するための委託費、藁などの材料費など

②補助金の額
・1団体あたり5万円 ・補助率10/10

令和6年度実績

No	講座・体験教室の名称	参加者	その他
1	そば打ち体験&出雲弁で紙芝居	29人	
2	はくちょう号から望む秋の夕陽と生演奏♪	35人	
3	親子で紙漉き体験 いろいろな形の和紙を作ろう	31人	
4	親子で、伝統的郷土料理「ぼてぼて茶」づくり体験	20人	
5	親子で楽しむ八雲塗り体験	11人	
6	世界に一つ自分だけのシーグラス入り小鉢作り体験	78人	
7	親子で郷土菓子「花もち」づくり体験	31人	
8	親子で楽しくかわいい和菓子づくり&お抹茶体験	21人	
9	親子でワクワク 弦楽器体験♪	102人	
合計		358人	

令和6年度実績

No	申請団体	申請額
1	穴道太鼓振興会	50千円
合計		50千円

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	2,000		
負担金補助及び交付金	500		
事業費計			2,500

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部埋蔵文化財調査課	史跡田和山・神後田遺跡史跡等取得事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	史跡田和山・神後田遺跡の追加指定地について、遺跡の保護と将来への継承を円滑に行うため。	項目（成果指標） 土地取得累計面積（実測・㎡）	R6実績見込 6,040	R7計画 0	R8計画 0	目標値 6,040
	目標（何を達成するのか）					
	史跡追加指定地の公有地化を行う。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 土地取得累計面積（㎡）：2029(令和11)年度
	・史跡田和山・神後田遺跡の公有地化を行う。 ・令和4年3月15日：史跡田和山遺跡の追加指定及び名称変更の告示 ・新規名称：史跡田和山・神後田遺跡 追加指定地面積8,140.36㎡（民有地7,959㎡、市有地181.36㎡） ・追加指定地の民有地7,959㎡のうち、土地取得の同意が得られた6,000㎡（実測面積6,040㎡）の公有地化を行う。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	追加指定地8,140.36㎡のうち民有地7,959㎡について、土地取得の了解を得た民有地 公募面積782㎡（実測面積821.67㎡）を取得し、土地取得の同意を得ていた民有地6,000㎡（実測面積6,040㎡）を公有地化した。	一旦完了とし、今後、残り1,959㎡についても所有者の同意が得られ次第公有地化を行う。	一旦完了とし、今後、残り1,959㎡についても所有者の同意が得られ次第公有地化を行う。
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費	7,561	
	国・県支出金	6,552	
	地方債	900	
	その他		
	一般財源	109	0
歳入合計		7,561	0

課題	追加指定地には民有地が含まれ、遺跡の適切な保護・活用を将来行っていくことが困難である。	方向性	公有地化することにより、将来永劫の遺跡保存・幅広い活用が実現する。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	ー	現時点では未定。		

本事業に関する主要データ

史跡田和山・神後田遺跡史跡等取得事業

史跡面積 16,354.69㎡(田和山遺跡・神後田遺跡の合計面積)
追加指定面積 8,140.36㎡(神後田遺跡の指定面積) ※田和山遺跡の指定面積:16,173.33㎡

年度	取得面積(㎡)	事業費(千円)						備考	
		国費	県費	起債	単費				
R4	4,603.74	59,736	47,788	3,982	7,100	866	測量面積		
R5	614.26	7,346	5,876	489	800	181	測量面積		
R6(見込)	821.67	7,561	6,048	504	900	109	測量面積		
合計	6,039.67	74,643	59,712	4,975	8,800	1,156			



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計		0	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	重要伝統的建造物群保存地区推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	美保関町美保関の美保神社周辺に残る歴史的なまちなみの保存・活用を通して、住環境や景観の向上を図り、地区の生活や生業、伝統行事等を後世へ継承する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		数値目標とすることに馴染まない。				
	目標（何を達成するのか）					
	重要伝統的建造物群保存地区の選定と補助制度導入による歴史を活かしたまちづくり					

事業概要	①伝統的建造物群は、文化財保護法により「周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いもの」とされる文化財である。市が伝統的建造物である建築物や工作物と共に、これと景観上密接な関係にある樹木、池、石垣等を特定し、これらを含む歴史的なまとまりをもつ地区を、「伝統的建造物群保存地区」（伝建地区）として決定し保存を図る。そののち、市から国へ申出をし、わが国にとって特に価値が高いと判断されると「重要伝統的建造物群保存地区」（重伝建地区）に選定され、地区内の建築物等の修理・修景、防災事業等の経費の補助を受けることができ、歴史的資源をいかしたまちづくりを行うことができる。 ②美保神社の周辺地区の歴史的なまちなみについて、国庫補助事業で実施した「保存対策調査」の成果をもとに、制度の導入と活用に向けた住民の合意形成を図る。
------	---

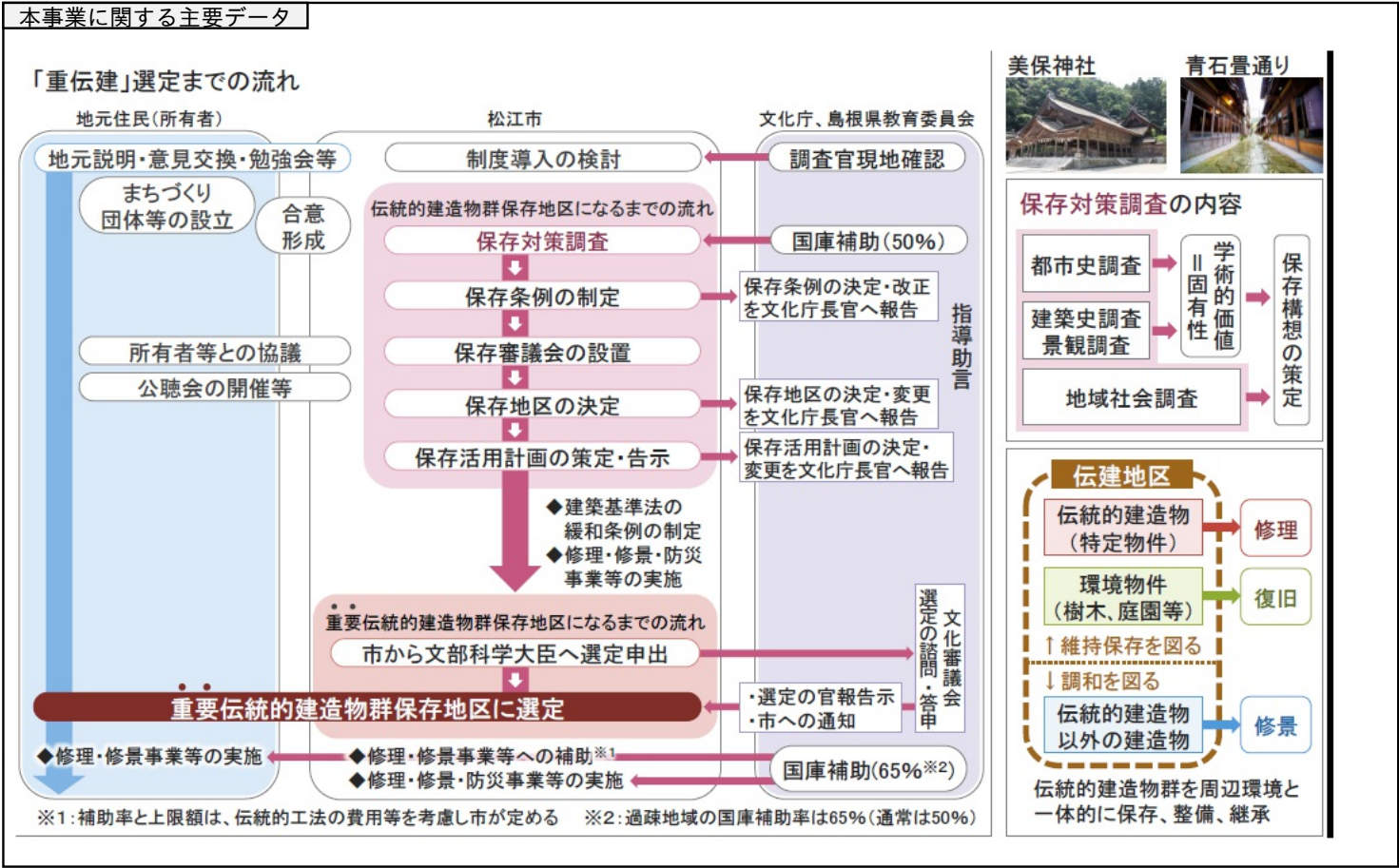
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	①住民組織「美保関まちなみ研究会」運営支援：5月、6月、7月、11月 ②住民勉強会：まちなみ塾全3回（5月、6月、7月） ③伝建だよりの発行：5月、6月、8月、10月、1月 ④先進地視察：6月津山市、9月呉市・竹原市 ⑤自治会、住民説明会：8月、10月、11月 ⑥保存条例制定：12月20日 ⑦保存活用審議会設置1月・開催2月（保存地区の検討、保存活用計画の検討） ⑧文化庁協議：随時	①自治会、住民説明会：4月、12月 ②住民組織「美保関まちなみ研究会」運営支援 ③技術者育成勉強会の開催 ④勉強会の開催：美保関まちなみ塾 ⑤保存活用審議会開催7月、12月（保存地区の検討、保存活用計画の検討） ⑥おかえりカフェ開催 ⑦文化庁協議 ⑧職員研修 ⑨伝建だよりの発行	①現状変更申請の受付 ②自治会、住民説明会、修理等に関する住民相談 ③住民組織「美保関まちなみ研究会」運営支援 ④技術者育成勉強会の開催 ⑤まちなみガイド養成講座の開催 ⑥保存活用審議会開催 年2回（修理物件の検討等） ⑦おかえりカフェ、住宅相談会の開催 ⑧職員研修 ⑨伝建だよりの発行
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		1,149	2,232
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,149	2,232
歳入合計		1,149	2,232

課題	①住民のまちづくり議論による合意形成が最優先である。 ②重伝建地区では住民の権利制限が生じるため、修理等の保存活用基準を定める段階では住民の主體的参画と理解が必要である。 【制限】建造物等の現状変更に対する規制ほか 【支援】財政支援（建物修理や修景・防災事業等）、税制優遇（固定資産税等の減免）ほか	方向性	◆重伝建制度導入による生活環境向上、定住・交流人口確保、産業・伝統行事の継承などの効果を目指す。 【令和4～5年度】保存対策調査、先進地視察、勉強会、住民組織設立、有識者検討委員会設立、文化庁協議 【令和6～7年度】保存条例制定、審議会設置、保存地区決定、保存活用計画策定、国へ重伝建地区選定の申出 【令和8年度】国から重伝建地区選定 【令和9年度】補助事業着手、防災計画検討開始
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月、12月	伝統的建造物群保存地区保存審議会	秋頃	活用イベントの実施支援
	通年	おかえりカフェ・住宅相談会の実施（年6回）	12月	地区決定、保存活用計画策定
	通年	美保関まちなみ塾の開催（ガイド育成講座）（年5回程度）	1月頃	市から文部科学大臣へ重伝建の選定申出
	通年	技術者育成講座の開催（年5回程度）	通年	美保関まちなみ研究会支援（不定期）



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	162		
報償費	553		
旅費	457		
需用費	545		
役務費	6		
委託料	286		
使用料及び賃借料	223		
事業費計		2,232	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	国際文化観光都市・松江・森の演劇祭事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	こどもから高齢者まで様々な人たちが、世界の多様で創造的な表現に触れ、演劇の楽しさや感動を味わうことで、市民の豊かな暮らしにつなげるとともに、演劇を通じた文化振興・地域づくりを推進する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		観客数（人）	0	5,000	0	5,000
	目標（何を達成するのか）	来場者数（人）	0	13,000	0	13,000
	国内外の多様で創造的な演劇作品に触れる機会を提供することで、市内外の方々に「まちそのものがアート」を実感していただく。					

事業概要	令和7年度に開催する「第8回松江・森の演劇祭」の開催を支援するもの。 ■松江・森の演劇祭とは 八雲林間劇場（しいの実シアター）を中心に、平成14年から国内外の劇団を招いて開催される国際演劇祭。概ね3年ごとに開催。演劇上演のほか、マルシェも開催し、賑わいを創出する。
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	第8回松江・森の演劇祭開催準備事業を支援する。	第8回松江・森の演劇祭開催事業を支援する。 （開催日）11/1(土)・11/2(日)・11/3(月・祝)・11/8(土) （会場）松江市八雲林間劇場(しいの実シアター)ほか （内容）国内外の劇団を招いての上演、会場敷地内でのマルシェの開催など （劇団）4か国8劇団8作品（仏・伊・米・日） ※演劇祭の派生事業として、一般市民に加え市内小・中学校を対象に、英国人形劇団による上演及び観劇者との交流を実施。（国内公立劇場3館[八雲林間劇場/松江市・コミネス/福島県白河市・アルテピア/安来市]で連携実施）	第9回松江・森の演劇祭開催準備事業を支援する。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
事業費		決算見込	当初予算
財源内訳	国・県支出金	2,500	27,500
	地方債		0
	その他		
	一般財源	2,500	8,870
歳入合計		0	18,630
		2,500	27,500

課題	・物価や人件費の高騰により、演劇祭の経費負担が増大する。 ・多くの観客・来場者を確保すべく、市内外へのPRを強化する必要がある。	方向性	・財源確保のため、国や民間の支援メニューやクラウドファンディングなどの活用をサポートする。 ・より多くの方に演劇祭を知っていただき、来場していただくため、情報発信を強化する。
----	---	-----	--

文化スポーツ部文化振興課 国際文化観光都市・松江・森の演劇祭事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金交付		
	11月	第8回松江・森の演劇祭開催		
	3月	補助事業完了		

本事業に関する主要データ					
▶松江・森の演劇祭開催実績					
	第4回 (H22開催)	第5回 (H26開催)	第6回 (H29開催)	第7回 (R4開催)	第8回 (R7開催予定)
期間	11/3～11/7	10/30～11/3	11/2～11/5	11/5～11/13	10/30～11/8
観客数	4,267人	5,040人	5,156人	2,775人	—
来場者数	10,955人	13,262人	12,486人	8,222人	—
公演数	14公演 6か国 11団体	14公演 6か国 11団体	15公演 6か国 14団体	11公演 4か国 10団体	—
					
第7回松江・森の演劇祭より					

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	27,500		
事業費計		27,500	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	わがまち自慢発掘プロジェクト事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域の歴史文化を伝え残していきたい大切な遺跡などの“お宝”を地図に表現し、広く市民や観光客に紹介することで、地域の歴史文化に対する関心や地域への愛着心を醸成する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		歴史のまち歩き参加者数（年間／人）	103	140	180	400
		歴史のまち歩き開催数（年間／件）	5	7	9	10
	目標（何を達成するのか）					
	わがまち自慢発掘プロジェクトや歴史のまち歩きなどを通して、「まち歩きマップ」や「歴史文化の案内・説明板」を活用した取り組みや地域の歴史文化に関心を持つ人を増加させる。					

事業概要	(数値目標の目標年度)
	項目名 歴史のまち歩き参加者数(年間/人) : 2029(令和11)年度
	項目名 歴史のまち歩き開催数(年間/件) : 2029(令和11)年度
	①「わがまち自慢発掘プロジェクト」補助金 公民館区毎に作成した地域の“お宝”を掲載する「まち歩きマップ」や「歴史文化の案内・説明板」について、継続して地区活動や市民参加型活動に活用できるように、マップの増刷や案内・説明板の設置・更新・修繕に係る補助を実施する。(実施主体は各公民館区で設置される実施団体)
	②歴史のまち歩き マップを活用した歴史まち歩き事業を市と地域が共同で開催する。

事業計画	R6実績見込		R7計画		R8計画	
	①「わがまち自慢発掘プロジェクト」補助金 3地区		①「わがまち自慢発掘プロジェクト」補助金 3地区		①「わがまち自慢発掘プロジェクト」補助金 3地区	
	②歴史のまち歩き 開催数：5回 応募者数：242人 参加者数：103人		②歴史のまち歩き 開催数：7回 参加者数：140人		②歴史のまち歩き 開催数：9回 (市以外の開催も含む) 参加者数：180人	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
事業費		1,023	1,104
財源 内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	82	144
	一般財源	941	960
	歳入合計	1,023	1,104

課題	・市が設置補助をした「歴史文化の案内・説明板」の中には、掲載内容が古くなったものや経年劣化により見えにくくなったものがある。 ・歴史のまち歩きの参加者数において、目標値と実績値に大きな乖離がある。	方向性	・引き続き、「わがまち自慢発掘プロジェクト」補助事業を実施し、「歴史文化の案内・説明板」の更新や修繕に係る補助を行う。 ・公民館や関係機関と連携し、歴史のまち歩きの開催者や協力者を増やしていく。
----	---	-----	--

文化スポーツ部文化財課 わがまち自慢発掘プロジェクト事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	「わがまち自慢発掘プロジェクト」補助金		
	随時	歴史のまち歩き		

本事業に関する主要データ

令和6年度歴史のまち歩き（実績）

	R6					
	八束	大庭	東出雲	玉湯	竹矢	計
応募者数（人）	27	46	59	51	59	242
参加者数（人）	14	37	20	21	11	103

「わがまち自慢発掘プロジェクト」補助実績

	実施地区		
R6	東出雲	城北	白湯
R7	八束	未定	未定

令和7年度歴史のまち歩き（予定）

	R7							
	竹矢	八束	小林如泥	八雲・セツ	大庭	雑賀	美保関	計
参加者数（人）	20	15	20	20	20	25	20	140

歴史のまち歩き
（チラシ）

歴史のまち歩き
（竹矢地区）

まち歩きマップ
（城北地区）

歴史文化の案内・説明板
（杵道地区）

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称		金額	
報償費		98	
需用費		10	
役務費		43	
委託料		44	
使用料及び賃借料		9	
負担金補助及び交付金		900	
事業費計		1,104	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部埋蔵文化財調査課	石垣修理事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市民の歴史学習の場として史跡松江城を整備するとともに、貴重な文化遺産として後世に保存・継承していく。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		数値目標とすることになじまない。				
	目標（何を達成するのか）					
	・崩落の危険性が高い石垣の修理を年次的に行い、石垣の保全を図る。 ・史跡松江城整備検討委員会を開催し、史跡松江城の整備に反映させる。					

事業概要	・史跡松江城の整備に関し、外部の各種専門家の意見を取り入れるため、史跡松江城整備検討委員会を開催する。 ・文化庁の指導により、松江城全体の整備基本計画を作成し、修理計画・修理方針を策定した後に石垣保存修理を実施する。 ・修理実施までは、崩落防止措置（石垣崩落防止ネット・大型土嚢・定点観測）で対応する。
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・令和7年度以降の整備事業等について史跡松江城整備検討委員会に諮る。 ・史跡松江城整備検討委員会において整備基本計画の途中経過を報告する。	・令和8年度以降の整備事業等について史跡松江城整備検討委員会に諮る。 ・整備基本計画を史跡松江城整備検討委員会に諮る。	・令和9年度以降の整備事業等について史跡松江城整備検討委員会に諮る。 ・整備基本計画に基づき、石垣修理の基本設計を作成するための調査を実施し、史跡松江城整備検討委員会に諮る。
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		43	318
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	43	318
歳入合計		43	318

課題	・崩落の危険度の高い石垣を年次的に修理しているが、来場者の安全性の確保も考慮のうえ、修理箇所の優先度を見直す必要がある。 ・石垣修理を進めるにあたって、松江城全体の整備基本計画を策定するよう文化庁の指導を受けている。	方向性	文化庁や県からの指導を受けつつ、松江城の整備基本計画を策定し、修理計画・修理方針を策定した後に石垣保存修理工事を実施する。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	2月	史跡松江城整備検討委員会の開催		

本事業に関する主要データ



史跡松江城整備検討委員会



委員現地視察

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	41		
旅費	273		
需用費	4		
事業費計		318	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	史跡松江藩主松平家墓所整備事業費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	・ 史跡松江藩主松平家墓所は、樹木による遺構の毀損、建築物の老朽化、排水施設の機能不全などの課題を抱えている。 ・ 文化財の本質的価値を将来に亘って望ましい状態で保存し、公開活用するための整備を行う。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		数値目標とすることに馴染まない。				
	目標（何を達成するのか）					
	・ 近世大名家墓所としての価値を保存するための復旧整備を行う。 ・ 文化財的価値が損なわれない範囲で公開活用の整備を行う。					

事業概要	【全体計画】 宗教法人月照寺が行う整備事業に対して、国・県とともに市として補助を行う。 ・ 整備基本計画（令和2年3月策定）に基づく整備を行う。 文化財の本質的価値を保存するための整備（近世から残る建造物・構造物の保存修理、危険木の伐採、排水施設整備など） 文化財を公開活用するための整備（環境整備、植生の整理、便益施設・サイン等の整備など） ・ 整備検討委員会を開催し、整備に関する指導を受ける。 ・ 事業期間：平成30年度～令和11年度（平成30年度、令和元年度は先行実施事業）、総事業費：491,203千円 ・ 令和5年度事業費：31,739千円（国補助：15,869千円、県補助5,289千円、市補助：5,290千円、所有者5,291千円） ・ 令和6年度事業費：49,916千円（国補助：24,958千円、県補助8,319千円、市補助：8,319千円、所有者8,320千円） ・ 令和6年度事業費（繰越分）：9,243千円（国補助：4,621千円、県補助1,540千円、市補助：1,540千円、所有者1,542千円） ・ 令和7年度事業費：77,380千円（国補助：38,690千円、県補助：12,896千円、市補助：12,897千円、所有者12,897千円）
------	---

事業計画	R6実績見込		R7計画	R8計画
	・ 参道修復工事（北側廟所地区）（2ヵ年計画の2年目） ・ 初代廟門土塀保存修理工事（令和5年度からの繰越事業） ・ 支障木伐採工事（御霊屋南側）（2ヵ年計画の1年目） ・ 初代廟所水路修復改良工事 ・ 石造物修復工事（寿蔵碑）実施設計（2ヵ年計画の2年目） ・ 危険木伐採工事（五代廟所南側・七代廟所北側） ・ 整備検討委員会の開催		・ 支障木伐採工事（御霊屋南側）（2ヵ年計画の2年目） ・ 支障木伐採工事（廟所地区） ・ 実施設計 ・ 工事（2ヵ年計画の1年目） ・ 参道修復工事（初代・七代・北側廟所地区） ・ 実施設計 ・ 工事（2ヵ年計画の1年目） ・ 整備検討委員会の開催	・ 支障木伐採工事（廟所地区）（2ヵ年計画の2年目） ・ 参道修復工事（初代・七代・北側廟所地区）（2ヵ年計画の2年目） ・ 石造物（寿蔵碑）修復工事（3ヵ年計画の1年目） ・ 七代廟門連子塀修復工事 ・ 実施設計 ・ 工事 ・ 支障木伐採工事（東側斜面地区） ・ 実施設計 ・ 工事（2ヵ年計画の1年目） ・ 整備検討委員会の開催
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		9,849	12,897
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	9,849	12,897
歳入合計		9,849	12,897

課題	・ 史跡全体を整備するため長期間にわたる事業であり、所有者にとって多額の費用が大きな負担となっている。 ・ 所有者に国庫補助事業を施行するノウハウがないため、市からの支援が必要である。	方向性	・ 整備基本計画に則って事業が進められるよう、所有者を支援していく。 ・ 事業に必要な補助金を確保するため、引き続き国・県に対して要望していく。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～8月	各種実施設計		
	4月～3月	各種工事		
	3月	整備検討委員会		

本事業に関する主要データ		
支障木伐採工事（廟所地区）実施設計・工事	参道修復工事（初代・七代・北側廟所地区）実施設計・工事	支障木伐採工事（御霊屋南側）
		
廟所地区の支障木、危険木の伐採を行う		御霊屋南側の支障木、危険木の伐採を行う
		
	石敷の消失、割れがみられる参道、五代下の階段の修復を行う	

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	12,897		
事業費計		12,897	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	重文木幡家住宅保存修理（第2期）事業費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	重要文化財木幡家住宅の指定建造物13棟は、経年劣化の進行が顕著となっている。第1期事業で修理した蔵3棟以外の建造物の保存修理を行い、その文化財価値を後世に確実に引き継ぐ。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		数値目標とすることに馴染まない。				
	目標（何を達成するのか）					
	近世から明治にかけての重要文化財建造物としての価値を保存し、将来へ引き継ぐ。文化財的価値を保つとともに、公開活用に向けて計画を策定していく。					

事業概要	【重文木幡家住宅保存修理（第2期）事業費補助金】 重文木幡家住宅を構成する指定建造物13棟のうち、対象建造物（主屋・新座敷棟・飛雲閣・新奥座敷棟・奥座敷棟・湯殿・御成門・行啓門・資材蔵・裏門）について、所有者が実施する保存修理事業に対して、国・県とともに市として補助を行う。 ・事業期間：令和4年度～12年度 ・総事業費：1,285,000千円（うち市負担64,250千円） ・令和5年度：95,500千円（市負担：4,775千円） ・令和6年度：144,000千円（市負担7,200千円） ・令和7年度：保存修理事業費：197,200千円（うち市負担：9,860千円） 保存活用計画策定事業費：388千円（うち市負担：194千円）
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・主屋：半解体修理 ・（附）湯殿：解体修理	・主屋：基礎工事、木工事、屋根工事 ・（附）湯殿：基礎工事、木工事、屋根工事 ・新奥座敷：解体修理 ・奥座敷：解体修理	・主屋：基礎工事、木工事、屋根工事 ・（附）湯殿：基礎工事、木工事、屋根工事 ・新奥座敷：基礎工事、木工事、屋根工事 ・奥座敷：基礎工事、木工事、屋根工事
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		7,200	10,054
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	7,200	10,054
歳入合計		7,200	10,054

課題	・第2期事業では10棟の建造物の修理が必要であり、所有者に多額の負担が生じる。 ・狭い敷地に複数の建物が密集して建っているため、修理方針の決定や修理工事に高度の知識や技術を要する。	方向性	・補助事業を確実に履行するために、修理委員会にてスムーズかつ適切な事業実施のための所有者のサポートを行う。 ・所有者の意向を各種計画に確実に反映させるために、国、県、市、設計監理業者間で密に連携をとり、保存活用計画の概要をまとめる。 ・事業に必要な補助金を確保するため、引き続き国・県に対して要望していく。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	主屋：基礎工事、木工事、屋根工事		
	4～3月	（附）湯殿：基礎工事、木工事、屋根工事		
	4～3月	新奥座敷：解体修理		
	4～3月	奥座敷：解体修理		

本事業に関する主要データ

・対象建造物

主屋



新座敷



飛雲閣



主屋解体中



新奥座敷



奥座敷



湯殿



主屋解体中



御成門



行啓門



裏門



主屋母屋継木補修



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	10,054		
事業費計		10,054	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	歴史的建造物保全継承事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	歴史的なまちなみを形成している古い建造物（歴史的建造物）の滅失を防ぐために、所有者との協働により保全継承し活用することで、歴史的資源を生かしたまちづくりを進める。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		歴史的建造物登録数（累計）	21	22	23	20
	目標（何を達成するのか）					
	歴史的建造物登録数20件					

事業概要	（数値目標の目標年度）
	項目名 歴史的建造物登録数（累計）： 2029(令和11)年度
	①市内にある指定文化財以外の歴史的建造物のうち、「松江市歴史的風致維持向上計画」の重点区域である旧城下町エリア・美保関エリア・宍道エリアにあるもの及び国の登録有形文化財を対象として、保全継承し活用を図る。 ②建造物調査の結果をもとに、所有者の同意を得て、「松江市歴史的建造物保全活用審議会」で調査審議し登録を行う。 ③登録後、市と所有者で保全契約を締結し、所有者が行う外観保全等に係る工事費の一部を補助する。 ④活用について、個々の建造物をまち歩きコースに設定するなど、面的に広げ、合わせてまち歩きガイドなどの人材育成を図る。 ⑤ヘリテージマネージャー（地域に眠る歴史文化遺産を発見し、保存し、活用して地域づくりに生かす能力を持った人材）や関係団体との連携を強化する。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	①歴史的建造物の登録（3件） ②修繕工事補助（1件） ③審議会の開催（1回）	①歴史的建造物の登録（1件） ②2次調査（1件） ③修繕工事補助（2件） ④審議会の開催（1回） ⑤歴史的建造物一斉公開・まち歩き（1回）	①歴史的建造物の登録（1件） ②2次調査（1件） ③修繕工事補助（2件） ④審議会の開催（1回） ⑤歴史的建造物一斉公開・まち歩き（1回）
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	939	14,267
	国・県支出金		
	地方債		
	その他	676	12,584
	一般財源	263	1,683
歳入合計		939	14,267

課題	①歴史的建造物の空家化や除却により、良好なまちなみ景観が損なわれる状況があるため、引き続き、所有者の理解を得て、登録及び保全継承を図っていく必要がある。 ②登録した歴史的建造物については、所有者による保全と有効な活用策を支援していく必要がある。 ③財源である「松江市歴史まちづくり基金」が枯渇した後の代替策を検討する必要がある。	方向性	①歴史的建造物の登録を進め、所有者に対する外観保全等の修繕費の補助を行うことで、良好なまちなみ環境を維持向上させる。 ②所有者とともに、歴史的建造物の活用を図り、歴史的資源を生かしたまちづくりを進める。 【活用事例】 ・歴史的建造物をめぐるまちあるき ・宿泊施設（一棟貸しなど） ・商業施設（飲食・物販など）
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	登録候補建造物の公募	2～3月	登録・保全契約締結
	6～8月	修繕工事（補助）	3月	登録プレート設置
	5～9月	2次調査（内部調査、聞き取り）		
	11月	歴史的建造物保全活用審議会開催（年1回）		

本事業に関する主要データ

■登録実績

(単位：件)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計
旧城下町エリア	3	2	2	2	-	2	-	1	1	13
美保関エリア	-	3	-	-	2	-	-	-	2	7
宍道エリア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
上記エリア以外の登録有形文化財	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
合 計	3	5	3	2	2	2	0	1	3	21

■調査実績

(単位：件)

	1次調査 (外観目視)	2次調査 (実測・作図)
	H26～H28	H26～R6
旧城下町エリア	783	25
美保関エリア	88	17
宍道エリア	76	15
登録有形文化財	-	2
合 計	947	59

■修繕補助金交付の推移

(松江市登録歴史的建造物保全継承事業補助金) R6以降は見込

(単位：千円)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
補助件数	0	1	3	3	2	1	0	1	1	2	2	1	1	1	1	1
補助金額(千円)	0	784	9,493	6,222	6,000	2,882	0	944	676	6,000	6,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000

【内容】登録歴史的建造物の外観保全等に係る工事費の補助

1件当り建造物 上限額3,000千円、工作物 上限額2,000千円 / 補助率3分の2

■歴史まちづくり基金の推移

R6以降は見込

(単位：千円)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
基金現額	60,000	60,004	59,280	49,793	43,578	37,582	34,701	34,702	33,759	33,084	27,084	21,084	18,084	15,084	12,084	9,084
取崩し額(▲)	0	▲784	▲9,493	▲6,222	▲6,000	▲2,882	0	▲944	▲676	▲6,000	▲6,000	▲3,000	▲3,000	▲3,000	▲3,000	▲3,000
利子積立額	4	60	6	7	4	1	1	1	1							
基金残額	60,004	59,280	49,793	43,578	37,582	34,701	34,702	33,759	33,084	27,084	21,084	18,084	15,084	12,084	9,084	6,084

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	49	償還金、利子及び割引料	6,553
報償費	33		
旅費	40		
需用費	3		
役務費	9		
委託料	1,580		
負担金補助及び交付金	6,000		
事業費計		14,267	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江城・史料調査課	文化財情報デジタル化推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市に残る豊富な文化財の情報に接する機会を広げて、文化財情報へのアクセスを容易にすることで、文化財への関心や理解を深めていく。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		文化財データベース導入累計数（箇所）	3	4	5	6
		松江城天守登閣数（4月～3月）（人）	455,000	500,000	500,000	500,000
		松江歴史館観覧者数（4月～3月）（人）	49,449	54,000	55,500	60,000
	目標（何を達成するのか） ・文化財情報のデジタル化を推進する。 ・デジタル化した文化財情報の集約（一元化）を図る。					

事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 文化財データベースの導入箇所数：2027（令和9）年度 項目名 松江城天守登閣者数：2029（令和11）年度、項目名 松江歴史館観覧者数：2029（令和11）年度 ・松江市に所在する豊富な文化財の情報をデータ化（デジタル化）するとともに、松江市の博物館、資料館、文化財所管部局で共通の文化財データベースシステムにデータを登録することで文化財情報を一元化して松江市版文化財デジタルアーカイブを構築する。 （※松江歴史館は既に収蔵品データベースシステムを導入・運用している）
	・令和3年3月に連携協力協定を締結した同志社大学文化遺産情報科学調査研究センターと共同で、AR・VRなどのデジタル技術を活用した文化財情報の発信を行う。 ①松江城天守VRソフト作成・設置 松江城天守VRソフトを作成、設置し、天守登閣が難しい人にも登閣体験ができるバリアフリー環境の実現を図る。 ②文化財デジタル人材育成 発掘調査や、松江歴史館館蔵品のデジタル化を自ら進めることのできる職員育成を行う。

事業計画	R6実績見込		R7計画	R8計画
	・松江市指定文化財台帳のデータ化 ・松江市指定文化財台帳のデータベースシステムへの登録 ・松江歴史館での松江城天守VR体験の運用		・文書館、出雲玉作資料館の収蔵資料デジタル化、データベースへのデータ登録 ・松江歴史館での松江城天守VR体験の運用	・文書館データベースへの登録 ・埋蔵文化財情報のデジタル化 ・松江歴史館での松江城天守VR体験の運用
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
	事業費	2,298	2,010
財源 内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	2,298	2,010
	歳入合計	2,298	2,010

課題	・松江市に所在する豊富な文化財の情報を一元化して効果的に発信する環境整備が必要。 ・事業推進にあたっての市役所内部での体制整備が必要。	方向性	・一元化したデータベース（デジタルアーカイブ）を松江市のホームページ等で公開する。 ・文化財セクション横断的なチーム編成を行い、利用しやすいデジタルアーカイブの構築を図る。
----	--	-----	---

文化スポーツ部松江城・史料調査課 文化財情報デジタル化推進事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	文化財情報デジタル化推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～10月頃	玉作資料館・文書館収蔵資料データの整理		
	11月頃～	デジタル情報のデータベース登録作業		
	通年	松江歴史館での松江城天守VR体験実施		
	随時	文化財のデジタル化（撮影等）作業		

本事業に関する主要データ

文化財デジタルアーカイブ構築

松江市の豊富な文化財情報を集約し、幅広い人にその魅力を伝える仕組みとして、データベースや公開システムの構築を行う。各施設や分野ごとにデータベースを構築し、松江市版文化財デジタルアーカイブとして集約する。

※赤枠部分が文化財デジタルアーカイブの構築部分（『松江市文化財保存活用地域計画』に掲げるデジタルアーカイブの実現を目指す）

松江市の豊富な文化財情報を一元化

松江歴史館
収蔵品データベース・ホームページ（既存）

資料館・記念館
データベース（新規）

松江城
データベース（新規）

地域文化財
データベース（新規）

道徳文化財
データベース（新規）

ジオパーク
ホームページ（既存）

松江市版
文化財デジタルアーカイブ

「ストーリー」
として発信

地域住民

歴史や文化が好きな人

観光客

※「ストーリー」：調査研究で知えた事実を使った松江の歴史文化の物語

※松江歴史館が利用するクラウド型データベースシステム「I.B.MUSEUM SaaS」を採用

リアリティーのあるVRで
国宝松江城天守への登閣を疑似体験！

体験場所 松江歴史館 ライフスラー

対象 13歳以上 参加費 無料

体験日時 毎週金、土、日曜日 令和4年8月12日（金）～11月27日（日）

【金曜日】13時30分～16時30分（※祝日の場合は土、日曜日に準ずる）

【土、日曜日】9時30分～12時、13時30分～16時30分

事前申込が必要です

※要予約・先・定員枠に達しない限り
松江歴史館のホームページから申し込めます

【予約枠】1人につき15分
※実際の体験は1回につき5分です
※予約枠に空きがあれば
事前申込なしでの当日参加も可能です

※同市社大文学文化遺産情報科学調査研究センターと松江市との連携協定によりVR制作しました

問い合わせ先 松江市文化スポーツ課

【予約申込先】 松江歴史館 HP: <https://www.matsuyama-keiki.jp/> TEL: 0852-32-1807

【VRの体験について】 松江館、資料館等 TEL: 0852-45-4959

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称		金額	
報償費		144	
旅費		399	
役務費		44	
委託料		983	
使用料及び賃借料		440	
事業費計		2,010	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江城・史料調査課	国宝松江城調査研究事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「誰もが松江の歴史文化を誇りに思い、こころ豊かになれるまち」実現のため、けん引役として松江城の調査研究をより一層推進し、その価値を高め、成果を広く発信し、行政各分野の施策にも積極的に貢献していく。	項目（成果指標） 松江城天守登閣者数【4月～3月】（人）	R6実績見込 455,000	R7計画 500,000	R8計画 500,000	目標値 500,000
	目標（何を達成するのか）					
	・調査研究による新たな事実の解明による学術的価値の向上。 ・正確かつ最新の調査研究成果の発信による知名度の向上。 ・関係市・県・研究者との共同研究による世界文化遺産登録の実現。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 松江城登閣者数：2029（令和11）年度 調査研究を通じて、松江城の調査研究をより一層推進し、松江城の文化財的価値を継続的に高めるとともに、その成果を積極的に情報発信する。 ①調査研究事業 松江城調査研究委員会を中心に、天守のみならず、城郭、城下町全体の調査研究を行う。 ②世界遺産登録推進事業 ・松本市、犬山市と構成する近世城郭群世界遺産登録推進会議における、共同研究を推進する。 ・姫路市、彦根市との連携強化を図る。 ・ICOFORT（城塞・軍事遺産国際学術委員会）との関係構築を図るため、国内委員会の専門家を招聘する。 ③情報発信事業 講演会の開催、研究成果を分かりやすくまとめた市民向け、研究者向けの書籍の発行を通じて、最新かつ正確な情報発信を行う。
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・松江城調査研究委員会の開催 ・建築史部会、城郭史部会、絵図・地図・文献部会での調査研究 ・『松江城研究6』『松江城ブックレット8』の発刊 ・ICOFORT研究会議・日中韓共同研究への協力 ・近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究	・松江城調査研究委員会の開催 ・建築史部会、城郭史部会、絵図・地図・文献部会での調査研究 ・『論集松江城Ⅱ』の刊行準備 ・『松江城研究7』『松江城ブックレット9』の発刊 ・ICOFORT研究会議・日中韓共同研究への協力 ・近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究	・松江城調査研究委員会の開催 ・建築史部会、城郭史部会、絵図・地図・文献部会での調査研究 ・『論集松江城Ⅱ』の刊行 ・『松江城ブックレット10』の発刊 ・ICOFORT研究会議・日中韓共同研究への協力 ・近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		13,624	14,068
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	115	14,068
	一般財源	13,509	0
歳入合計		13,624	14,068

課題	・世界遺産登録を見据えた世界的見地からの調査 ・研究が求められる。 ・松江城に関する調査研究レベルの維持向上のための継続的な取組みが必要。 ・市民の機運醸成が求められる。	方向性	・国際会議の松江開催、外国語媒体の書籍刊行、海外専門家との共同研究などを通じて、調査研究に国際的な視点を取り込む。 ・基礎研究を継続的に実施し、その成果を広く発信し、観光など市政全般にも反映させる。 ・講座の開催など啓発活動に取り組む。
----	--	-----	--

文化スポーツ部松江城・史料調査課 国宝松江城調査研究事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	国宝松江城調査研究事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	世界遺産登録推進会議準備会 総会	随時	松江城調査研究委員会 専門部会での個別調査
	7月～2月	世界遺産登録推進会議準備会 専門家会議（WG）3回	随時	各専門部会の開催
	10月	松江城調査研究委員会		
	3月	各出版物刊行		

本事業に関する主要データ

松江城天守登閣者数

年度	登閣者数
R1年度	450,000
R2年度	170,000
R3年度	180,000
R4年度	320,000
R5年度	380,000
R6年度(見込)	460,000

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2～3年度は登閣者数が大幅に減少。

令和元年度と比較し、令和4年度は約7割、令和5年度は約8割と回復傾向にある。

松江城調査研究の成果発信に関する出版物

シリーズ名	概要
松江城研究	松江城調査研究委員会委員を中心とする松江城研究の成果報告
松江城ブックレット	松江城に関する専門的な内容を、各分野の専門家が分かりやすく叙述したブックレット
松江城関係資料集	松江城に関する基礎資料集 (松江城に関する調査研究の進展に寄与するもの)

松江城研究

松江城ブックレット

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,166	負担金補助及び交付金	3,563
職員手当等	832		
共済費	524		
報償費	2,024		
旅費	2,315		
需用費	2,501		
役務費	143		
事業費計		14,068	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江歴史館	松江歴史館展示企画事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江の歴史・文化に関わる展覧会の開催などにより、松江の新たな魅力を発信することで、郷土愛の醸成を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		松江歴史館観覧者数（人）	50,000	54,000	55,500	60,000
	目標（何を達成するのか）					
	調査研究成果を活かした魅力ある展覧会の開催とともに観覧者数の増加を図る。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 松江歴史館観覧者数（人）：2029（令和11）年度 60,000人
	・松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を年3回開催する。 ・このうち、特別展はその年度の最も規模の大きな展覧会である。 ・企画展では県外の普段見られない資料や地元の資料を中心に展示する。また、年1回は館蔵品展を開催する。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	〔特別展・企画展開催予定〕 ①企画展「神々の美術ー出雲の神像と神宝」 ②企画展「松江体育協会創立100周年記念 松江のスポーツ今昔」 ③特別展「月照寺と松平家の宝」 ④館蔵品展「松江藩を支えた家老 大橋茂右衛門」	〔特別展・企画展開催予定〕 ①企画展「松江の名工・小林如泥ーその技、神の如しー」 ②館蔵品展「長崎家の簾細工ー松江でつづく丁寧な仕事ー」 ③特別展「慶長の城ー松江城築城とその時代ー」	調整中
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		18,386	16,357
財源内訳	国・県支出金	3,376	3,907
	地方債		
	その他	13,542	12,450
	一般財源	1,468	0
歳入合計		18,386	16,357

課題	・効果的な広報を実施し、より多くの人に展覧会を周知する必要がある。 ・興味を引く展示内容、仕掛けなどの工夫が必要である。	方向性	・チラシやポスターに加え、SNSを活用するなど効果的な広報を行う。また、松江城との二館共通券の販売あつ旋など松江城登閣者の松江歴史館への誘導策を検討する。 ・市民により一層関心を持ってもらえるように、調査・研究の成果をさらにわかりやすく展示をしていく。 ・公開承認施設の利点を活かして、国宝・重要文化財をはじめとする貴重な資料を展示し、歴史や文化に対する関心を高めていく。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	松江歴史館展示企画事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～6月	松江の名工・小林如泥		
	7月～9月	長崎家の簾細工		
	10月～12月	慶長の城		

本事業に関する主要データ

4.25（金）▶6.15（日）企画展

松江の名工・小林如泥

ーその技、神の如しー

小林如泥は、松江藩松平家7代藩主松平治郷（不昧）につかえた指物師（木工細工の職人）で、透かし彫りや厚材の扱い優れました。本展では小林如泥の作品と後世の人々の作品を紹介し松江が誇る木工文化の素晴らしさを改めてご紹介します。

「榊島富士西行図透刀牌」
小林如泥作（当館蔵）

7.18（金）▶9.15（月・祝）館蔵品展

長崎家の簾細工

ー松江でつづく丁寧な仕事ー

松江藩の簾細工は江戸時代後期の文政年間頃には作られ始めていたといい、この江戸時代の技法を現代に伝えるのが長崎家の簾細工です。本展では、初代仲蔵から現在活躍中の長崎誠氏とその技術を受け継ぐ方々の作品をご紹介します。

「箱組一家編簾管入」
長崎仲蔵作（当館蔵）

10.10（金）▶12.7（日）特別展

慶長の城

ー松江城築城とその時代ー

関ヶ原合戦後の慶長期は、城郭の改修と新築が一気に進んだ時代でした。松江城も築城ラッシュの最中、慶長16年（1611）建ちました。松江城天守の国宝指定10周年を記念して開催する本展では、松江城研究の成果にもとづき松江城の姿をあらわします。

国宝 松江城天守

松江歴史館観覧者数推移

年度	観覧者数
H23年度	125,000
H24年度	65,000
H25年度	68,000
H26年度	75,000
H27年度	65,000
H28年度	68,000
H29年度	60,000
H30年度	60,000
R1年度	55,000
R2年度	28,000
R3年度	28,000
R4年度	42,000
R5年度	48,000

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	455		
旅費	220		
需用費	620		
役務費	648		
委託料	14,316		
使用料及び賃借料	98		
事業費計		16,357	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	ぶらっとプラバ魅力発見事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市民がプラバホールを身近な施設として、これまで以上に愛着を感じ、心とした機会にぶらっと立ち寄れる場として、プラバホールの新たな魅力を発見してもらう。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		ぶらっとプラバ事業参加人数（人）		2,500	2,500	2,500
	目標（何を達成するのか）	プラバホール利用人数（人）		104,000	108,000	120,000
	市民にこどもの頃からプラバホールに親しんでもらうため、特に小学生親子を対象とした4つの取組により、来場機会の創出や利用人数増を目指す。					

事業概要	（数値目標の目標年度）項目名 参加人数：2025（R07）年度
	新たに着任した音楽プロデューサーの指揮により、さんびる文化センタープラバホールを拠点として、こどもたちをはじめ多くの市民に身近に感じてもらうための事業を実施する。 令和7年度事業予定 ●親子セットチケット ●公演リハーサル無料公開 ●公開レッスン、ワークショップの実施 ●プラバの日（仮称）イベント実施

事業計画	R6実績見込		R7計画	R8計画
			4つの取組により2,500人の利用増を目指す	様々な取組により2,500人の利用増を目指す
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費		1,864
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		1,864
	一般財源	0	0
歳入合計		0	1,864

課題	プラバホールの鑑賞事業が調整中の部分もあるため、演者とのスケジュール調整により実施の可否が左右される取組もあり、どのような取組が確実に最も効果的であるかを常に検証する必要がある。	方向性	誰もが一度はプラバホールに来たことがあるという経験をもてるよう、特にこどもを中心としてプラバホール来場機会を創出することで、利用人数の増を目指す。取組内容は実施後の利用者アンケート等により見直しをかけていく。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	文化芸術の拠点施設としてのプラバホールの利活用

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～2月	親子セットチケット		
	4月～2月	公演リハーサル無料公開		
	4月～3月	公開レッスン、ワークショップの実施		
	12月	プラバの日（仮称）イベント実施		

本事業に関する主要データ	
さんびる文化センタープラバホール 鑑賞事業（予定）	
公 演 内 容	日 程
N響メンバーによるピアノクインテッド	6月12日（木）
児玉隼人トランペットリサイタル	7月30日（水）
角野未来ピアノ・リサイタル	8月29日（金）
神尾真由子ヴァイオリン・リサイタル	9月13日（土）
米山麻美オルガンリサイタル	11月中
エ籐重典と贈るフルートコンサート	12月7日（日）
プラバ光の杜～松江の冬を彩る音楽と光のプロムナード～	12月中
小泉八雲の作品を題材とした音楽による和と洋の出会い	令和8年1月
村治佳織、村治奏一ギターデュオリサイタル	令和8年2月28日（土）

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	1,268		
旅費	225		
需用費	304		
役務費	19		
使用料及び賃借料	48		
事業費計		1,864	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江歴史館	小泉八雲・セツのドラマを生かして化ける松江推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	小泉八雲・セツのドラマに関連した展覧会を開催し、2人が暮らした松江の町並みやそこに住む人々の思いを多くの人に知っていただき、国際文化観光都市・松江の魅力を発信していく。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		展覧会観覧者数		8,900		8,900
	目標（何を達成するのか）					
	調査研究成果を活かした魅力ある展覧会の開催とともに、観覧者数の増加を図る。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 展覧会観覧者数 ： 2025(令和7)年度				
	小泉八雲とセツが生きた明治時代中期の松江の様相を、歴史資料やゆかりの品々で振り返る展覧会を開催する。				
	開催時期	令和7年12月26日（金）～令和8年3月29日（日）			
	場所	松江歴史館企画展示室			

事業計画	R6実績見込		R7計画	R8計画
			企画展「連続テレビ小説『ばけばけ』の世界と小泉セツと八雲の時代」の実施	
達成度				
1	計画目標に向けて順調に推移			

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費	0	12,561
	国・県支出金	0	6,280
	地方債	0	0
	その他	0	6,281
	一般財源	0	0
歳入合計		0	12,561

課題	・効果的な広報を実施し、多くの人に展覧会を周知する必要がある。 ・松江城周辺の文化施設を周遊するための仕組み作りが必要である。	方向性	・松江市観光振興課等と連携して、広域的な広報や、SNSを活用した広報などを行う。 ・松江歴史館企画展示にあわせ、小泉八雲・セツに関わる周辺施設も観覧し、知見を深めてもらえるような取り組みや誘導策を検討する。
----	--	-----	--

文化スポーツ部松江歴史館 小泉八雲・セツのドラマを生かして化ける松江推進事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	松江歴史館展示企画事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	12月～3月	企画展の実施		

本事業に関する主要データ	
期間：令和7年12月26日（金）～令和8年3月29日（日）	
連続テレビ小説「ばけばけ」が2025年10月から放送されることにあわせて、ドラマの主人公のモデルとなった松江藩家臣の小泉家次女・小泉セツと、その夫でギリシヤ生まれのアイルランド人作家・小泉八雲（ラフカディオハーン）の二人が生きた明治時代中期の松江の様相を、歴史資料やゆかりの品々で振り返ります。	
	
「小泉八雲夫妻」和田悠成作	

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	44		
旅費	78		
需用費	95		
委託料	12,344		
事業費計		12,561	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	市民美術展開催事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	幅広く市民の美術への理解と関心を深めるとともに、発表や鑑賞の機会を確保し市民文化の向上を図る。	項目（成果指標） 来場者数（人）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
			1,349	1,500	1,650	2,000
	目標（何を達成するのか）	一般公募作品出品数（点）	135	150	165	180
	市民が創作した芸術作品を募集し、市民美術展を開催する。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 来場者数（人）：2029(令和11)年度 項目名 一般公募作品出品数（点）：2029(令和11)年度
	市民から広く美術作品を公募して美術展を開催することにより、幅広く市民の美術に対する理解と関心を深めるとともに、市民文化の向上を図る。 （日時）令和7年9月5日（金）～9月8日（月） （部門）6部門（書、日本画、洋画、写真、工芸、デザイン） （会場）島根県立美術館ギャラリー （主催）松江市、松江市民美術展実行委員会

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	【第52回市民美術展開催】 会期：9月6日（金）～9日（月） 会場：島根県民会館ギャラリー ・洋画、日本画、写真、書、工芸、デザインの6部門ごとに市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作、ユース賞を選考し、表彰した。	【第53回市民美術展開催】 会期：9月5日（金）～8日（月） 会場：島根県民会館ギャラリー ・洋画、日本画、写真、書、工芸、デザインの6部門ごとに市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作、ユース賞を選考し、表彰する。 ・出品数（目標値）：220点 （うち一般公募150点、招待70点） ・来場者数（目標値）：1,500人	【第54回市民美術展開催】 会期：9月4日（金）～7日（月） 会場：島根県民会館ギャラリー ・洋画、日本画、写真、書、工芸、デザインの6部門ごとに市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作、ユース賞を選考し、表彰する。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		2,243	2,722
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他	2,243	2,722
	一般財源	0	0
歳入合計		2,243	2,722

課題	・コロナ禍以前と比べて、出品数や来場者が減少している。 ・出品者、来場者ともに若年層の参加が少ない。 ・市美展がマンネリ化しているという意見が来場者からある。	方向性	・高校、大学等の美術部等への情報提供と出品の呼びかけを行う。 ・SNSを活用した広報を強化する。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	作品募集開始		
	9月	市民美術展開催		

本事業に関する主要データ

開催年	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
来場者数	1,648	1,411	1,508	1,005	940	1,157	1,349
出品数	235	252	240	195	190	193	205
うち一般公募作品	161	184	168	132	131	138	135
うち招待作品	74	68	72	63	59	55	70

来場者数の推移

開催年	来場者数
平成30年度	1,648
令和元年度	1,411
令和2年度	1,508
令和3年度	1,005
令和4年度	940
令和5年度	1,157
令和6年度	1,349

一般公募作品出品数の推移

開催年	出品数
平成30年度	235
令和元年度	252
令和2年度	240
令和3年度	195
令和4年度	190
令和5年度	193
令和6年度	205

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	555		
委託料	2,167		
事業費計		2,722	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ課	市営体育施設改修費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市営スポーツ施設の安全性と利便性の向上を図り、スポーツを起点としたまちづくりを推進する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		市営スポーツ施設年間利用者数（人）	1,199,588	1,300,000	1,300,000	1,300,000
	目標（何を達成するのか）					
	老朽化が進む市営体育施設の改修・修繕を行い、利用者の安全確保及び施設の利便性向上を図る。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 市営スポーツ施設年間利用者数：2029(R11)年度
	老朽化が進む市営体育施設について、利用者の安全確保及び施設の利便性向上を図るうえで、優先度の高い改修・修繕から順次実施する。

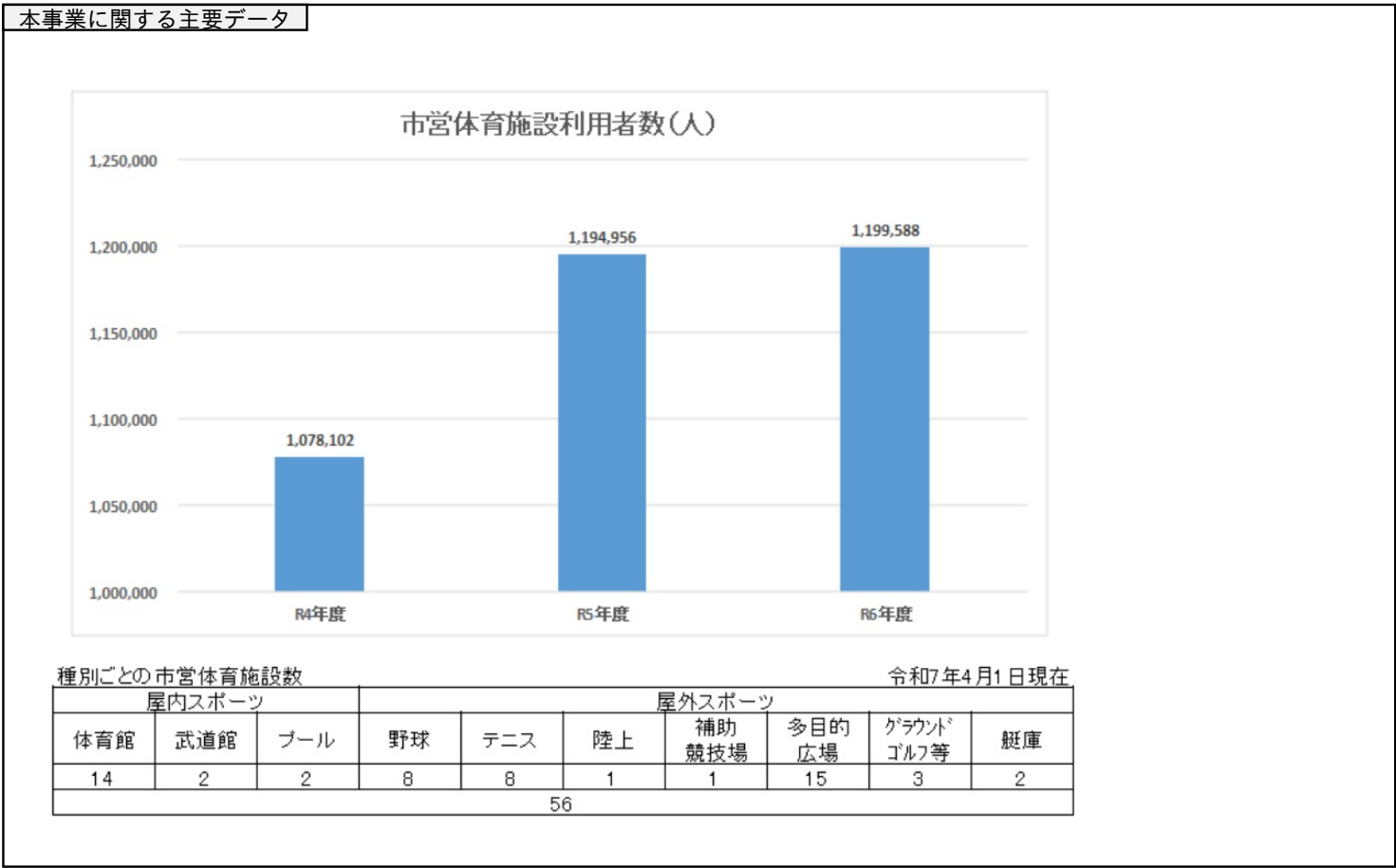
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	【主な事業】 ・市営北庭球場芝張替工事 ・島根スポーツ広場ABコートバックネット等改修工事 ・秋鹿なぎさ公園照明更新工事	【主な事業】 ・松江市営陸上競技場2種更新改修工事 ・鹿島総合体育館プール室LED改修工事 ・東出雲中央公園テニスコートLED改修工事	調整中
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		115,249	174,304
財源内訳	国・県支出金		
	地方債	72,500	159,700
	その他	4,429	4,800
	一般財源	38,320	9,804
歳入合計		115,249	174,304

課題	老朽化が著しい施設が多く、施設の突発的な故障等への対応に苦慮している。	方向性	施設の改修・修繕については、指定管理者へのヒアリングや現地調査により、利用者の安全確保や施設の利便性向上に向け、優先度の高いものから順次実施する。
----	-------------------------------------	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	体育施設整備事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	9,361		
役務費	1,299		
委託料	9,439		
工事請負費	134,563		
備品購入費	19,642		
事業費計		174,304	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ振興課	スポーツコミッション事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	スポーツ団体・民間事業者・経済団体・市などの連携を促進し、スポーツの大会・イベント・合宿等が市内にもたらず社会的効果・経済的効果の最大限を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		数値目標とすることに馴染まない。				
	目標（何を達成するのか）					
	関係団体の連携の基盤（プラットフォーム）である「松江スポーツコミッション」を設立し、各団体が得意分野を生かして、スポーツによる地域活性化・まちづくりに取り組む。					

事業概要	松江スポーツコミッションの主な取組 ・企画・調整 「交流ミーティング」の企画運営 マーケティング調査（事例調査、全国会議参加、アンケート調査・分析等） ・情報集約・発信 大会、イベント、スポーツ施設等の情報集約 ホームページ、SNS等による情報発信 ・観光連携 スポーツイベント参加者に対する観光情報、飲食店、土産等の紹介 ・大会・合宿の誘致・開催支援 競技団体、大学、実業団チーム等への誘致活動 スポーツ施設、交通、飲食、宿泊等のワンストップによる調整 ボランティア登録制度による開催支援
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	スポーツコミッション設立準備委員会を開催し、組織体制や事業計画について検討を進め、令和7年3月にスポーツコミッションを設立した。	・「観光連携」として、市内で開催されるスポーツイベントの参加者・観戦者を観光・飲食などの消費行動に繋げる取組や、大会・合宿の開催支援（ワンストップ支援）を実施する。 ・「企画・調整」として、新たな事業検討に繋げるため、市内の関係者のネットワークづくりの場として「交流ミーティング」を定期的を開催する。	R7年度の取組みを継続・発展させるとともに、R9年度から事務局を移管するための検討を行う。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
財源内訳	事業費	6,500	5,496
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	6,500	5,496
歳入合計		6,500	5,496

課題	設立後2年間（令和7年度、8年度）は市が事務局を担うが、その後の事務局体制が課題。	方向性	市補助金以外の財源を得るために行う自主事業の実施可能性および、自立可能な事業計画等について検討し、令和9年度から事務局を移管することを目指す。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	地域スポーツコミッション推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	開催支援ワンストップ窓口設置		
	3月	ボランティア登録制度運用開始		
	通年	交流ミーティングの開催		
	通年	幹事会の開催		

本事業に関する主要データ

スポーツコミッションが**基盤(プラットフォーム)**となり、関係団体間の連携を促進する媒体の役割を果たすことで、地域に様々なメリットをもたらす。



地域のメリット(主なもの)

- 市民の楽しみ・生きがいの創出
- 誘客拡大による宿泊者数の増加
- 飲食店・土産店との連携強化による消費額拡大

構成団体の役割とメリット(例)

構成団体	スポーツコミッションにおける役割	各団体のメリット
イベント事業者	大会・合宿開催支援	・参加者の増加 ・受注機会の増加
飲食・物販事業者	地元産品のPR	・利用客の増加 ・売上の増加
観光・コンベンション事業者	大会の誘致 観光プラン提案	・利用客の増加
競技団体・スポーツ関係団体	大会・合宿の誘致 大会の運営	・参加者の満足度の向上 ・大会運営の負担の軽減 ・競技の認知度向上・普及
行政	スポーツ施策の推進 関係者の支援	・市の知名度向上 ・関係人口の増加 ・市民の満足度の向上
交通事業者	選手の移動手段確保	・利用客の増加
スポーツ施設管理者	施設の利便性向上	・施設利活用の促進
地域団体(住民)	スポーツへの関心向上 大会開催の支援	・住民の楽しみ・生きがいの創出 ・地域の賑わいの創出
プロスポーツチーム	興行開催 地域貢献	・観戦者の増加 ・市全体での応援機運の醸成
報道関係事業者	事前報道・情報発信	・報道・情報発信機会の増加
ホテル・旅館事業者	選手の宿泊受入	・スポーツ施設と連携した新たな宿泊客の獲得 ・宿泊者数の増加

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,155		
職員手当等	810		
共済費	511		
旅費	20		
負担金補助及び交付金	2,000		
事業費計		5,496	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ課	中海スポーツパーク整備事業費・中海スポーツパーク整備事業費（継続費）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市営スポーツ施設の安全性と利便性の向上を図り、スポーツを起点としたまちづくりを推進する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		市営スポーツ施設年間利用者数（人）	1,199,588	1,300,000	1,300,000	1,300,000
	目標（何を達成するのか）	中海スポーツパーク施設年間利用者数（人）		16,000	60,000	60,000
	人工芝を備えた多目的広場を整備し、市民のスポーツ振興や健康づくりを推進するとともに中海周辺地域の活性化を図る。					

事業概要	（数値目標の目標年度）
	項目名 市営スポーツ施設年間利用者数：2029(令和11)年度
	項目名 中海スポーツパーク施設年間利用者数：2029(令和11)年度
	【概要】
	人工芝グラウンド：1面、クレーグラウンド：1面
	クラブハウス：1棟、トイレ1棟、ナイター照明：4基
	駐車場：200台

事業計画	R6実績見込		R7計画	R8計画
	・多目的広場整備工事（1/2） ・外構設備整備工事（1/2） ・クラブハウス建築等工事（1/2） ・照明設備設置工事（1/2）		・多目的広場整備工事（2/2） ・外構設備整備工事（2/2） ・クラブハウス建築等工事（2/2） ・照明設備設置工事（2/2）	—
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		304,972	552,001
財源内訳	国・県支出金	108,581	487,554
	地方債	146,800	36,500
	その他		15,695
	一般財源	49,591	12,252
歳入合計		304,972	552,001

課題	現在、多目的に利用できる芝生のサッカーグラウンドは、市営補助競技場と北公園多目的広場の2ヶ所に限られ、休日・夜間に利用が集中し、施設予約が取りにくくなっており、本市のスポーツ振興を図るうえで市民ニーズに応えられていない。	方向性	幅広い年齢層の市民が、安全かつ快適に様々なスポーツに親しむことができる多目的広場を整備し、市民のスポーツ振興や健康づくりを推進する。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	スポーツ振興の拠点づくり事業（スポーツパーク整備）

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～6月	クラブハウス建築等工事・照明設備設置工事	12月～	供用開始
	4月～10月	多目的広場整備工事・外構設備整備工事		
	6月～7月	条例改正（設置管理条例）		
	11月	オープニングセレモニー		

本事業に関する主要データ

主な地方債：一般補助施設整備等事業

●人工芝グラウンド：1面
115m×78m＝8,970㎡
●ナイター照明：4基



●クラブハウス棟：1棟
木造平屋建（事務室、会議室、更衣室など）
●トイレ・防災倉庫棟：1棟
男女各1室、多目的トイレ1室

●クレーグラウンド：2面
28m×22m＝616㎡（×2面）
●ナイター照明：4基



●駐車場：200台
アスファルト舗装：5,831㎡

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	27		
需用費	1,293		
役務費	135		
委託料	8,047		
使用料及び賃借料	26		
備品購入費	12,000		
工事請負費	530,473		
事業費計		552,001	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ課	松江市総合体育館改修整備管理運営事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市で唯一のプロスポーツチームである島根スサノオマジックを応援することで市民の地域への誇りや愛着が醸成され、地域活性化へとつながる。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		B1リーグ（松江市開催）平均観客数（人）	4,435	0	4,000	4,000
	目標（何を達成するのか）					
	2026年からの新Bリーグにおいても、島根スサノオマジックがホームアリーナとして松江市総合体育館で活躍できるよう、B. PREMIER基準に適合するアリーナへ改修し、管理運営は民間活力を活用する。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 項目名 B1リーグ（松江市開催）平均観客数：2029(R11)年度 B. PREMIER基準に適合したアリーナの改修及び機能強化を図るための改修業務 ＜松江市総合体育館改修整備管理運営事業の概要＞ ・主な改修内容 観客席の5,000席確保、スイート・ラウンジの新設、トイレの増設、飲食関連施設の設置 メイン・サブアリーナLED照明への改修、既存トイレに温水洗浄便座を設置 ・管理運営 10年間の指定管理（維持管理・運営）
------	--

事業計画	R6実績見込		R7計画	R8計画
	・ 基本設計		・ 実施設計 ・ 改修工事	・ 改修工事
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6 決算見込	R7 当初予算
事業費		3,993	
財源内訳	国・県支出金		
	地方債	3,600	
	その他		
	一般財源	393	0
歳入合計		3,993	0

課題	・物価高騰による事業費増 ・工期	方向性	

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月	実施設計完了		
	8月	改修工事		

本事業に関する主要データ	
令和5年度11月補正予算において、B.PREMIER入会基準に適合したアリーナへの改修及び機能強化を図るための改修と、改修後の施設の維持管理・運営について、一体として事業実施するため債務負担行為を設定	
○債務負担行為設定額： 42億2,247万円（期間：令和6年度～令和18年度） うち 実施設計、改修工事 33億2,708万円（期間：令和6年度～令和8年度） うち 維持管理・運営 8億9,539万円（期間：令和8年度～令和18年度）	
○スケジュール	
内容	時期
契約	令和6年7月上旬
設計・改修等	請負契約締結日～令和8年8月末日
運営開始	令和8年9月～

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計		0	